



SUPER WALL CONCEPT & TECHNICAL BOOK

暮らしの質を進化させる、 スーパーウォール2×6の家。

住まいの本質は、ライフクオリティの向上。人生の質、暮らしの質を高める環境をつくること。万人の願いとも言える、家族の健康も、住まいの性能に深く関係していることを知っておく必要があります。スーパーウォールの家は、住まいの本質を極め、これからの時代に求められる、環境と人にやさしい住宅性能を追求。高性能住宅のトップランナーを目指す、確かな技術と品質で、暮らしの質を進化させる住まいを実現します。

「快適」「健康」「省エネ」「安心」を
最高水準にまで高めるために「暮らし性能」を追求しています。

快 適

COMFORTABLE

健 康

HEALTH



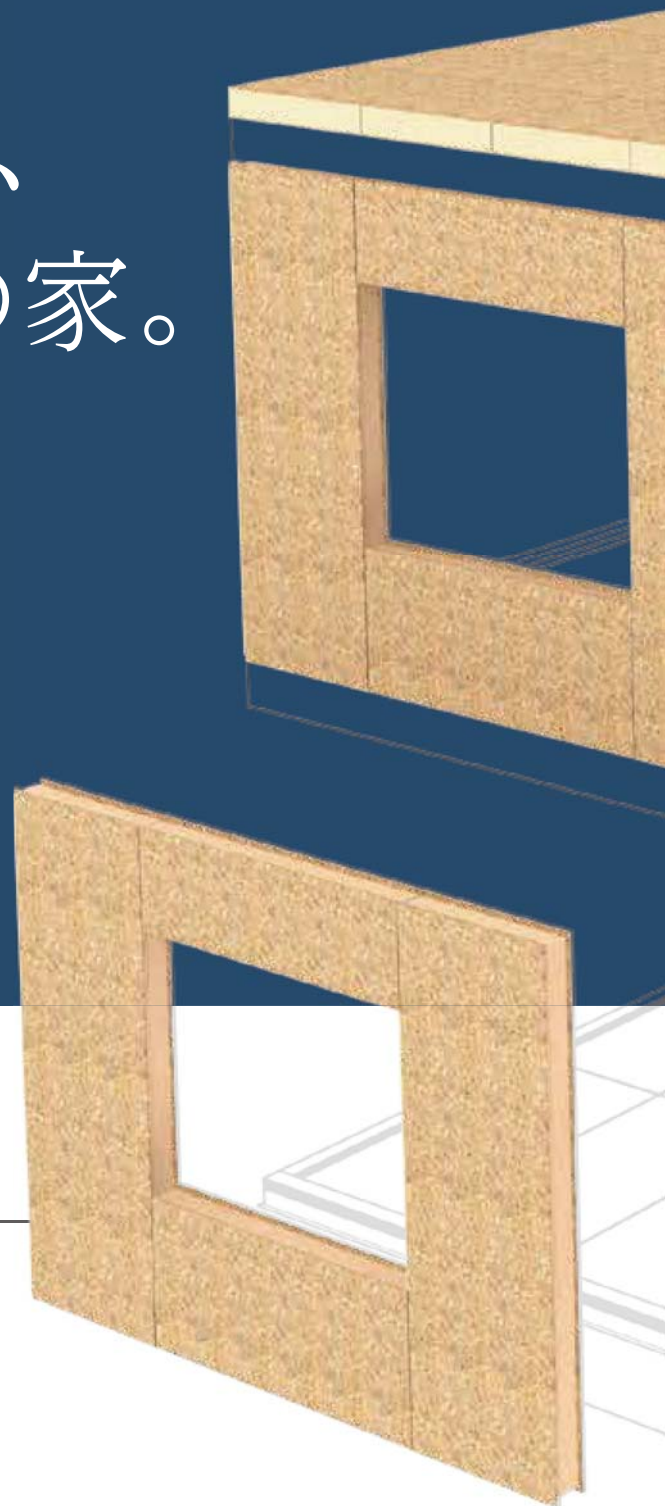
安 心

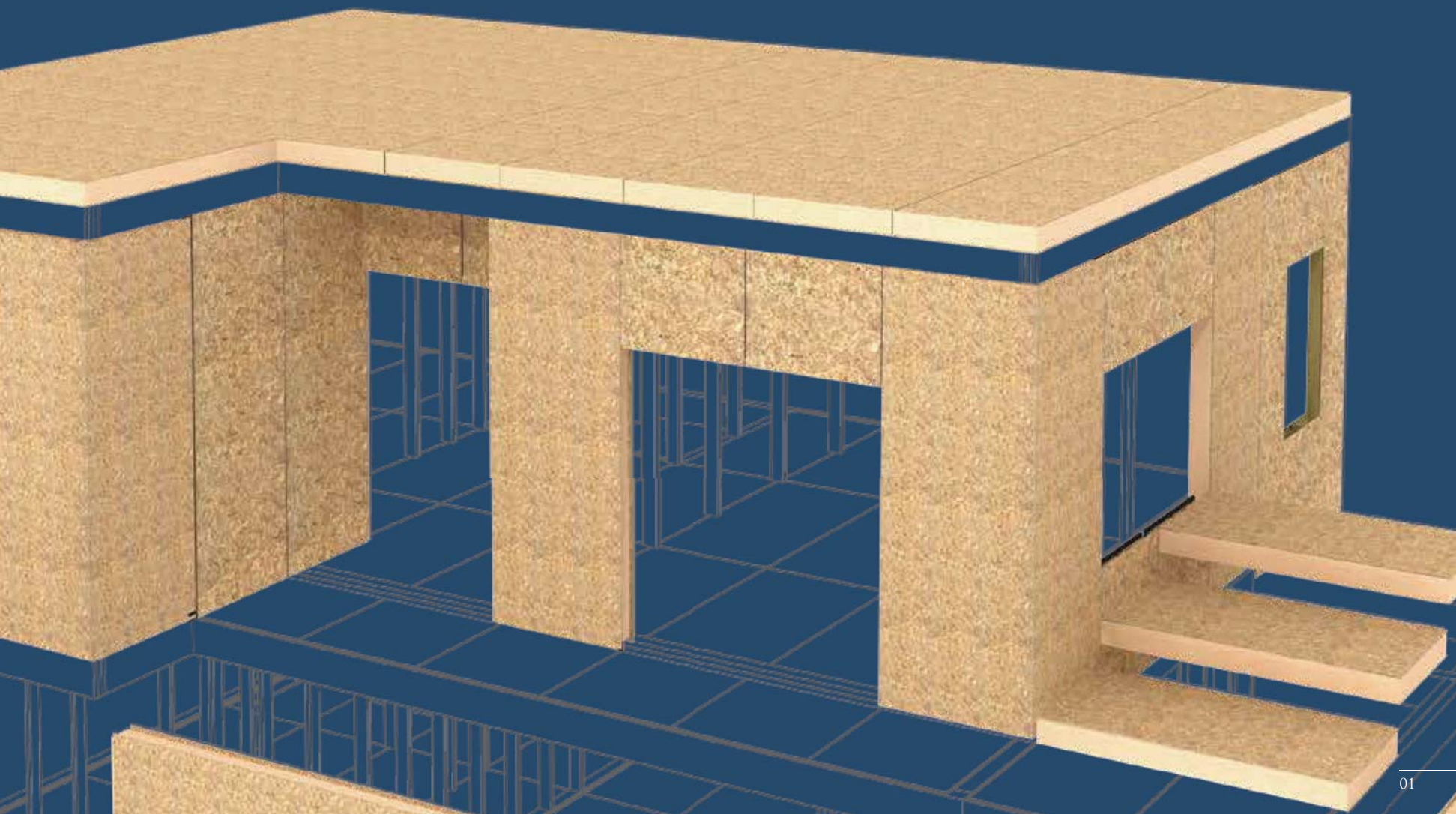
SAFETY

省エネ

SAVING ENERGY

スーパーウォール2×6の家は、高性能なスーパーウォール2×6パネルと高断熱サッシ、計画換気システムが生み出す、高気密・高断熱・高耐震構造。快適・健康・安心・省エネという観点から、暮らしの質を最高水準にまで高め、その違いを実感していただける「暮らし性能」を追求しています。





01

CONTENTS

01 温熱環境 P.02

02 空気環境 P.08

03 災害への備え P.12

04 耐久性 P.16

05 省エネ・創エネ P.18

06 音環境 P.22

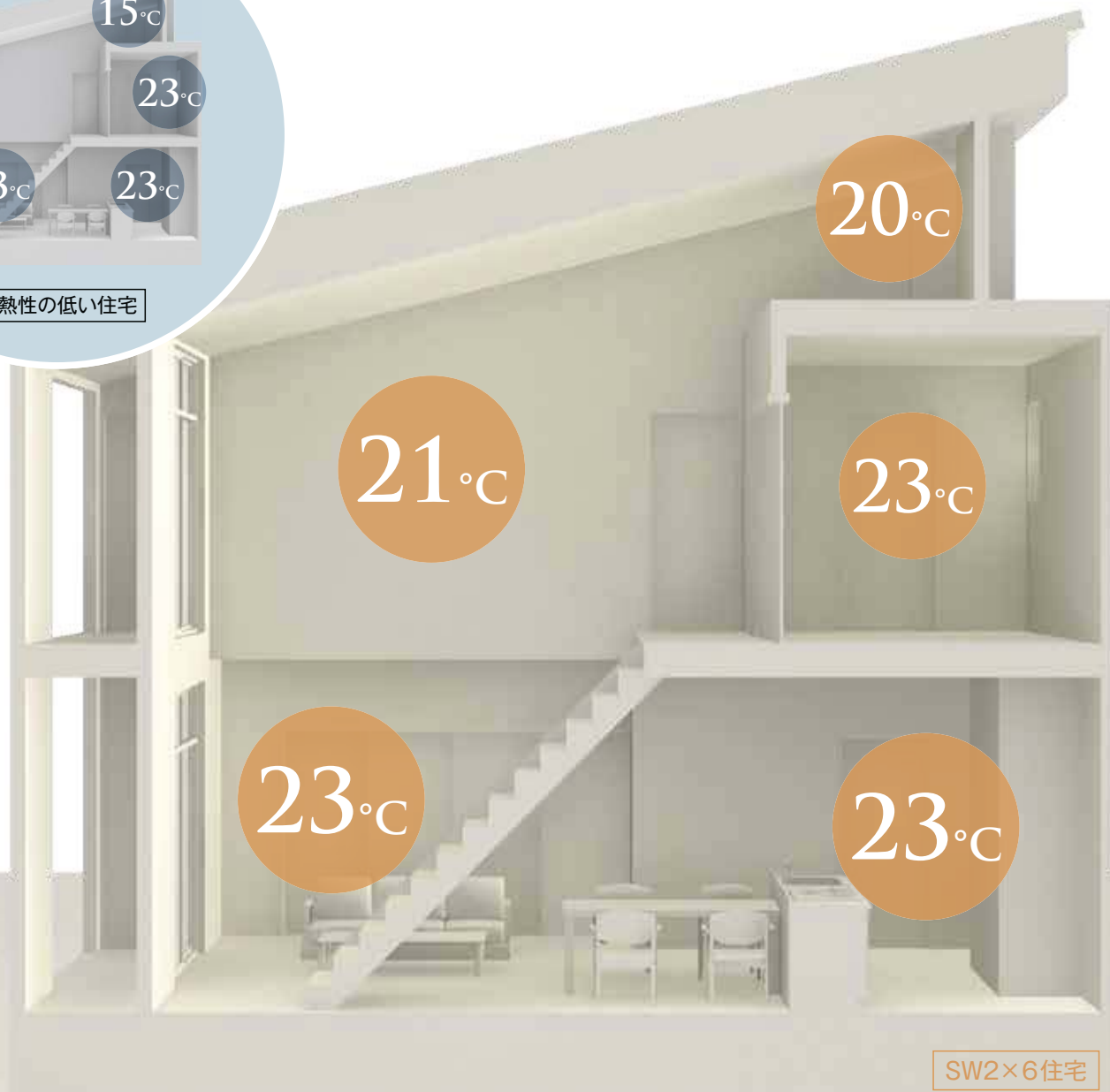
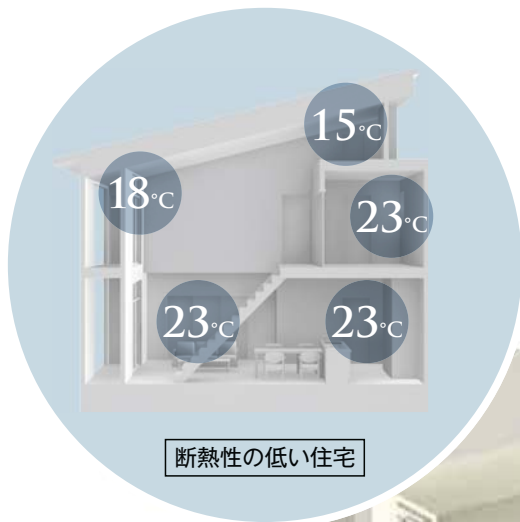
07 品質と保証 P.24

01

温熱環境

魔法瓶のような高い断熱性で
家の中の温度差が少ない暮らし。

たとえば冬の室内。リビングは暖房で快適であっても、廊下やトイレは寒く感じるのではないのでしょうか。この温度差は、暮らしの快適性を損ねるだけでなく、ご家族の健康にも影響を及ぼします。そんな家の中の温度差を少なくするには、住まいの気密・断熱性を高めることが大切です。

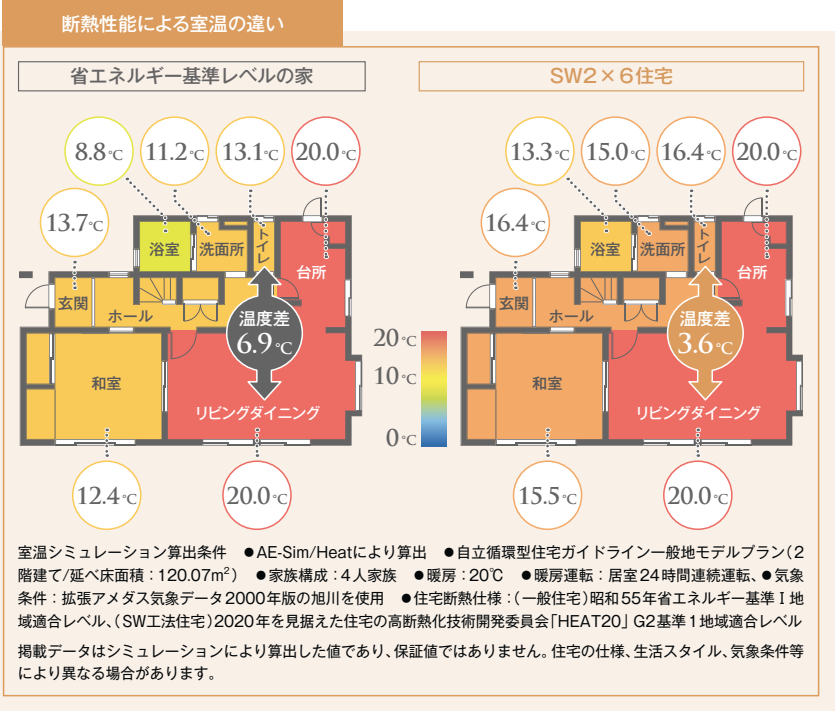


掲載データは下記条件でシミュレーションにより算出した値であり、保証値ではありません。住宅の仕様、生活スタイル、気象条件等により異なる場合があります。

算出条件 ●AE-Sim/Heat により算出 ●弊社実証実験住宅プランで試算(2階建て/延べ床面積:93.31m²) ●家族構成:4人家族 ●暖房:23°C ●暖冷房運転:居室24時間連続運転 ●気象条件:拡張アメダス気象データ2000年版の旭川を使用
●住宅断熱仕様:(一般住宅)昭和55年省エネルギー基準Ⅰ地域適合レベル、(SW工法住宅)2020年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会「HEAT20」G2基準Ⅰ地域適合レベル

住まいの断熱性能を高めると 家の中での温度差が少なくなります。

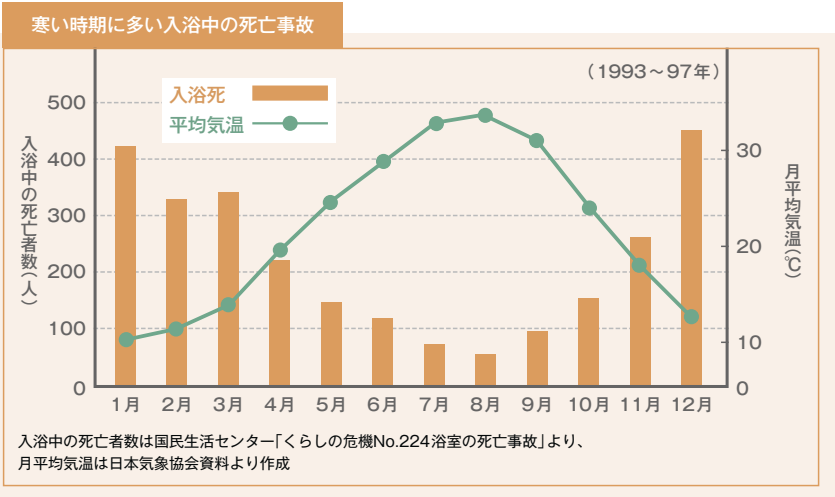
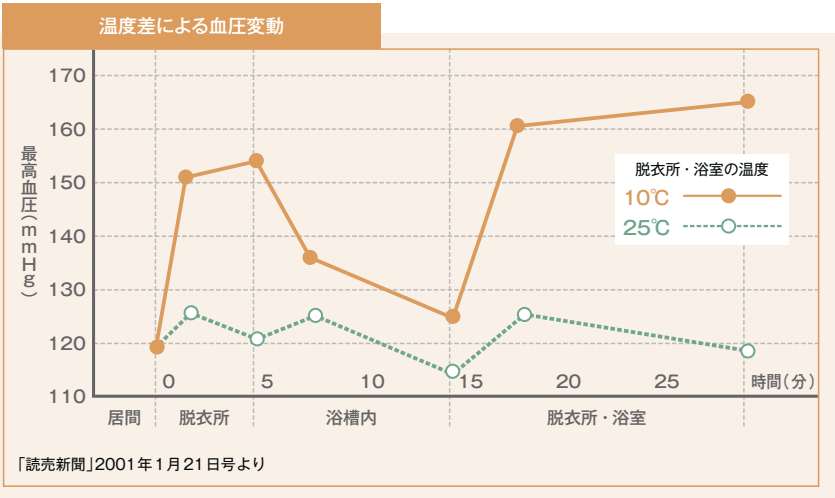
建物全体の断熱性能を高めると、家の中の部屋ごとの温度差が少なくなります。省エネルギー基準レベルの家とスーパーウォール2×6の家を比較してみると、リビングとトイレの温度差が6.9℃から3.6℃に、リビングと脱衣室(洗面所)の温度差は8.8℃から5℃へ改善。暖かなリビングから廊下や玄関へ出たときの不快なヒンヤリ感が軽減され、浴室やトイレにおけるヒートショックのリスク軽減にもつながります。

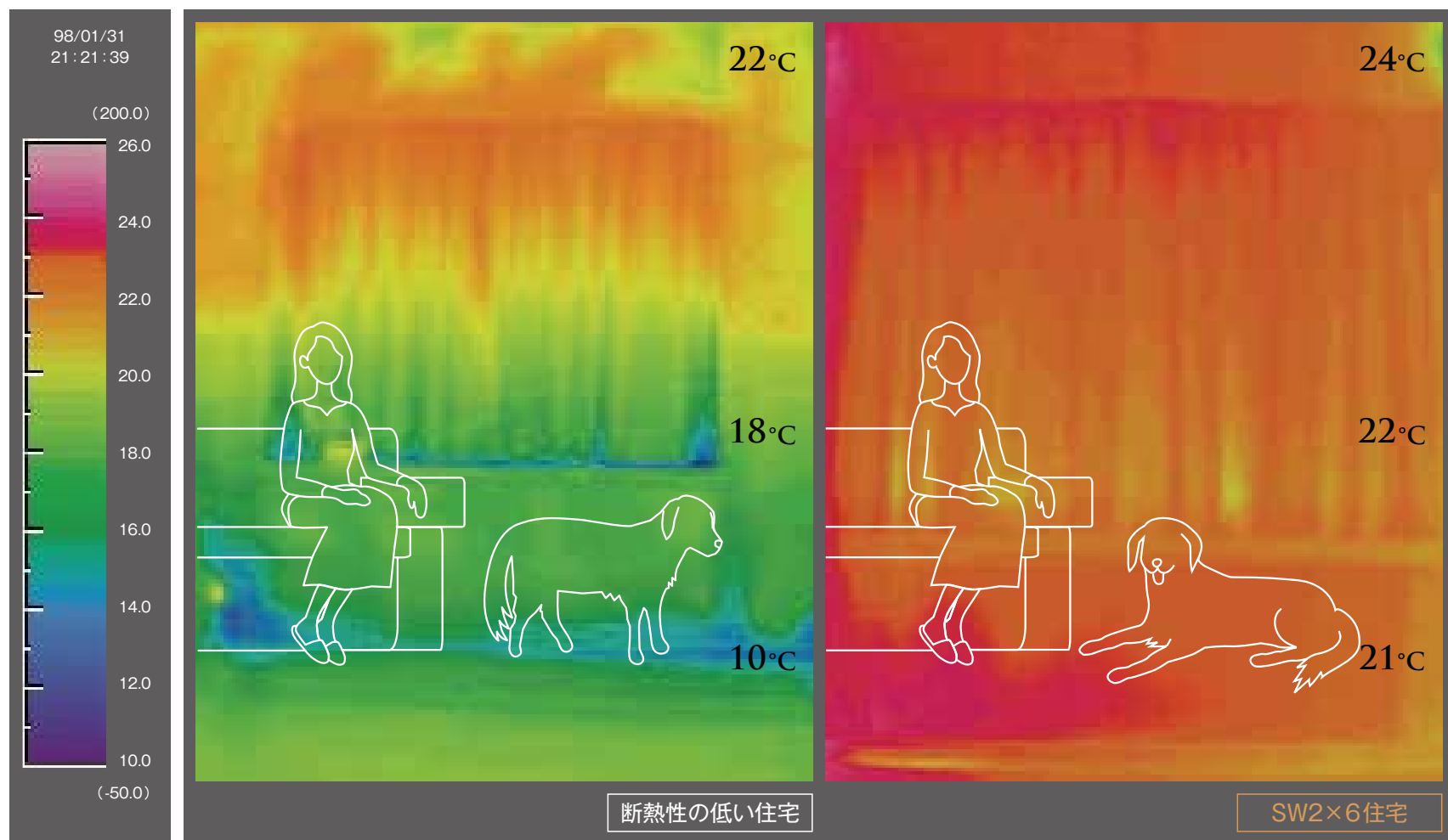


脱衣室やトイレも温度差が少ない※ので ヒートショックも安心です。

交通事故は年々減少傾向にある中で、家庭内の死亡事故は増加傾向にあり、特に寒い時期の入浴中の死亡事故が多く発生しています。その主な原因は、入浴時の急激な温度変化によって、血圧や脈拍が変動する「ヒートショック」が起こり、心筋梗塞や脳出血、脳梗塞などを引き起こしたものと考えられています。スーパーウォール2×6の家は、冬でも居室と脱衣室やトイレとの温度差が少ないため、突然死のリスクと言えるヒートショックにも安心。家中暖かな住まいが、ご家族の健康を守ります。

※リビングなどの居室において、適切な暖房運転を行った場合です。





壁面温度熱画像による部屋の上下温度差の比較

部屋間の温度差だけでなく 上下の温度差も3℃という快適性。

気密・断熱性にすぐれたスーパーウォール2×6の家は、部屋間の温度差が少ないだけでなく、部屋の上下の温度差が少ないことも実証されています。暖房が効いている暖かいリビングなのに、なぜか足元が寒いといったことがなく、床に座って遊ぶ小さなお子様に寒い思いをさせることもありません。また、吹き抜けや高天井の空間においても、上下の温度差が少ないため、暖房効率を心配する必要がありません。もちろん夏場も同様に、部屋の隅々まで快適な室温を保ち続けます。

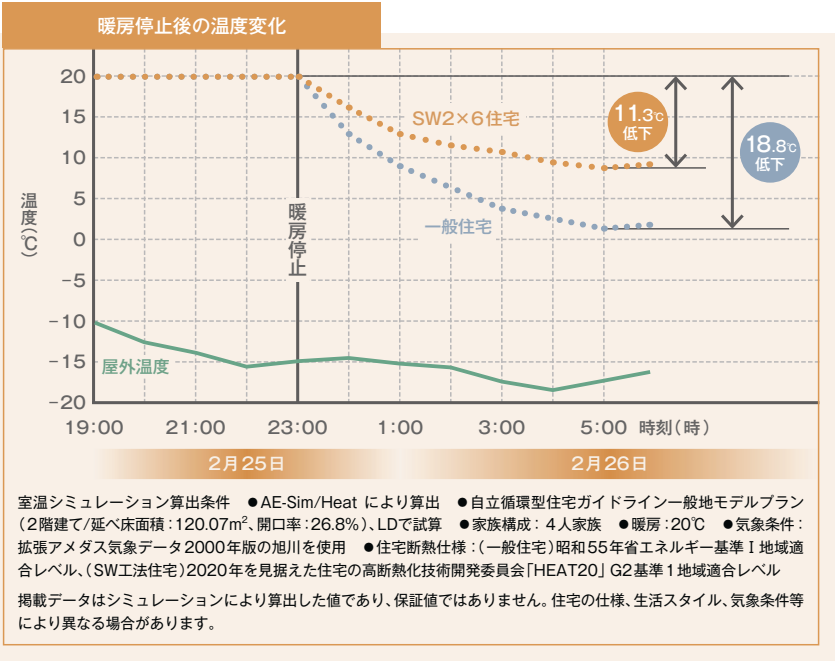
建物全体を断熱材で包み込んだ 魔法瓶のような空間。

部屋間の温度差や上下の温度差が少ない、スーパーウォール2×6の家の温熱環境は、建物全体を高性能断熱材で包み込んだ、気密性の高い、魔法瓶のような空間が生み出します。夏も冬も外気温に左右されにくい快適な室内環境を実現するポイントは、高い気密・断熱性にあるのです。



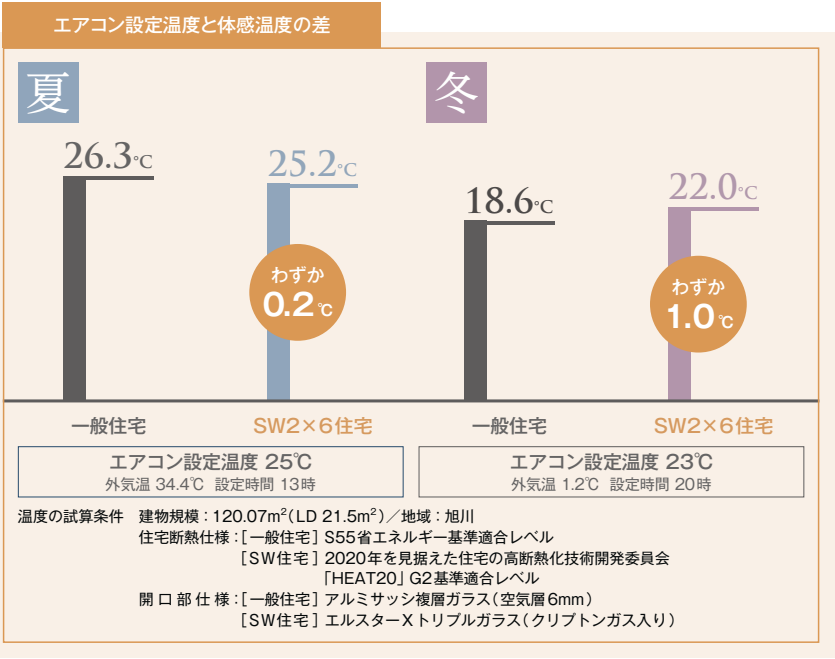
たとえ就寝前に暖房を止めても翌朝 8.7℃という驚きの室温。

地域によって違いはありますが、冬場になると夜中の冷え込みが厳しく、就寝前に20℃程度あったリビングの室温が翌朝には0℃近くまで下がってしまうということがあります。このように暖房を消すと室温がどんどん下がってしまうのは、住まいの断熱性が低いことが原因です。スーパーウォール2×6の家は、断熱性が高いため、たとえ就寝前に暖房を消しても室温が下がりにくく、翌朝も9℃程度をキープ。このような断熱性の高さは、万一、災害時にライフラインが断たれ暖房ができなくなった場合にも安心です。



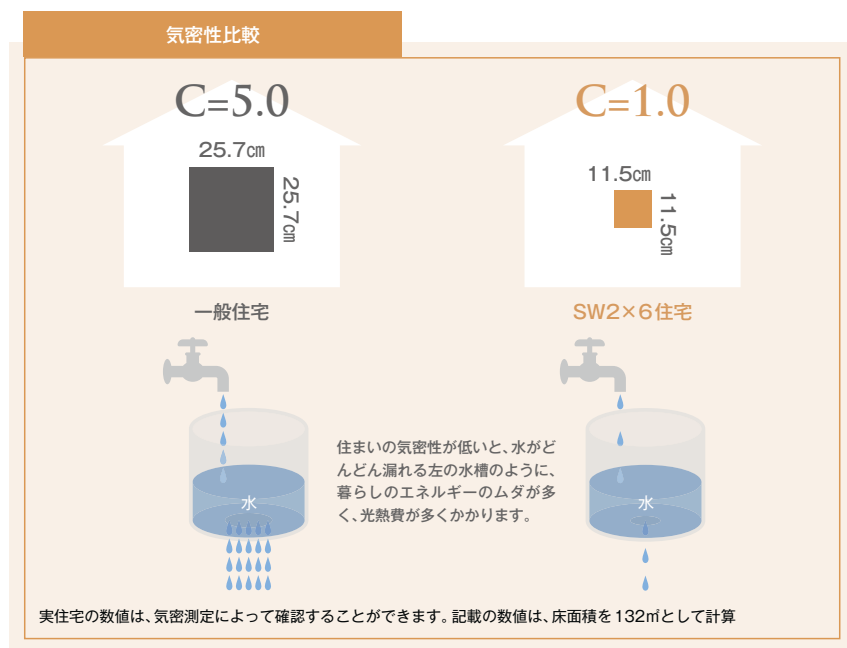
冷暖房の設定温度と体感温度の差が少なく、夏も冬も快適。

人が感じる体感温度は、床・壁・窓・天井など、まわりにある物の温度の影響を受けています。たとえば冬場、室温が23.0℃の場合でも、住まいの断熱性が低く、まわりの表面温度が低い場合、感じる暖かさは18.6℃程度。この温度差4.4℃はセーター一枚分以上に相当し、つい暖房を強くしてしまうことに。しかし、スーパーウォール2×6の家なら、体感温度は22.0℃とその差はわずか1.0℃。冬も夏も必要以上に冷暖房の設定温度を上げ下げすることなく、心地よく過ごせます。



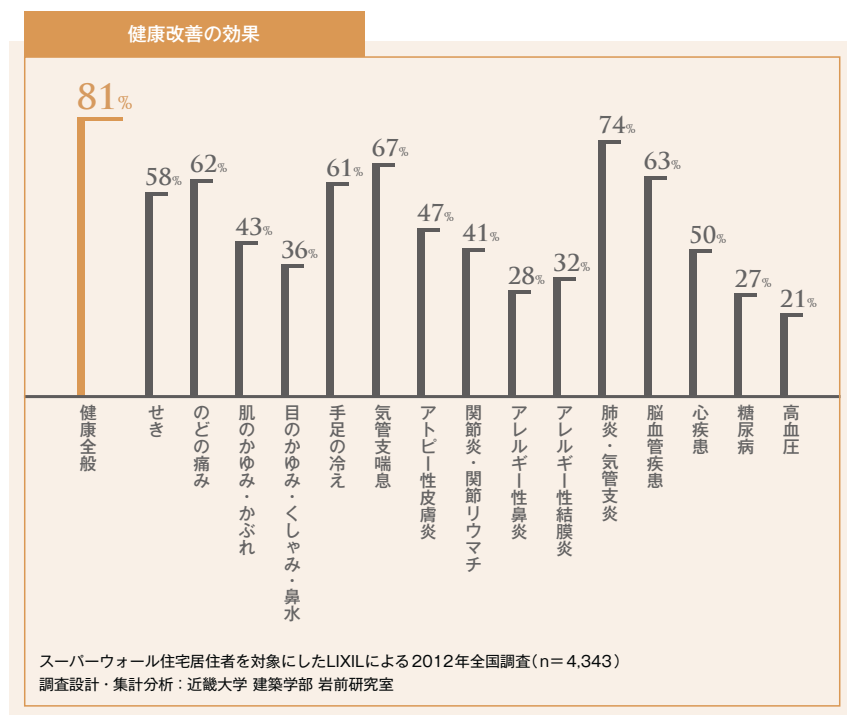
見えない隙間、家の気密性が暮らし心地の差となって表れます。

住まいには見えない隙間がさまざまな箇所に存在しています。隙間が多いと、いくら暖房や冷房を行っても漏れてしまい、快適な室内環境を保つことができません。したがって、暮らし心地を高めるためには、住まいの気密性は重要なポイントになります。気密性能はC値（相当隙間面積）として数値化されており、数値が小さいほど隙間が少なく、気密性にすぐれていることを示します。スーパーウォール2×6の家では、C値1.0を基準とし、一邸一邸、気密測定を行い、性能報告書にてご確認いただいております。



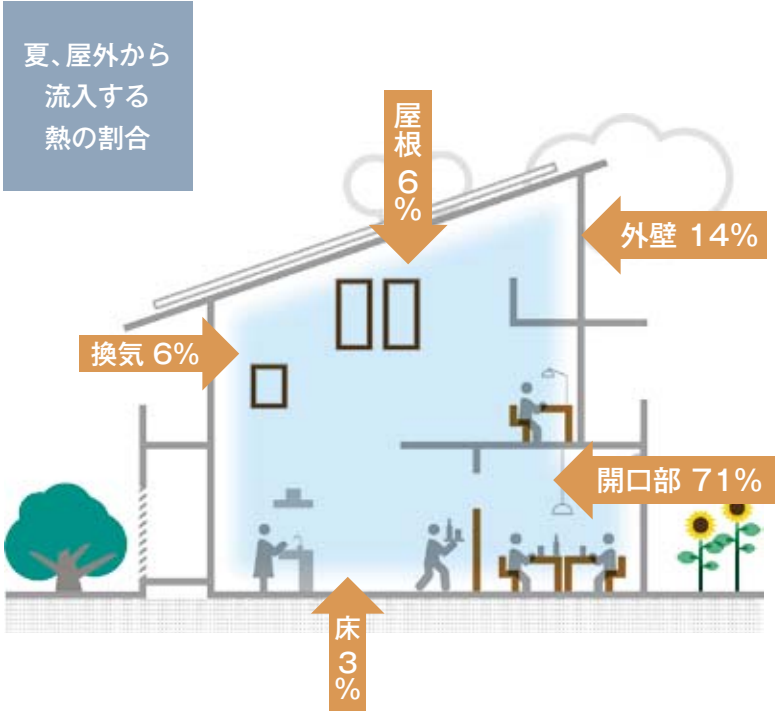
家中が暖かい住まいは健康の改善につながります。

住まいの断熱性と健康について研究をされている、近畿大学の岩前教授の協力を得て、スーパーウォールの家にお住まいの方を対象とした健康アンケートを行いました。スーパーウォールの家に暮らしてから、ご家族の健康状態がどのように変化したかを調査したところ、さまざまな項目で、以前の暮らしより健康状態が改善したという回答を数多くいただきました。特に健康全般における改善率は80%を超える驚くべき結果に。冬でも家中が暖かい、気密・断熱性の高さが健康改善に効果的であることが実証されました。



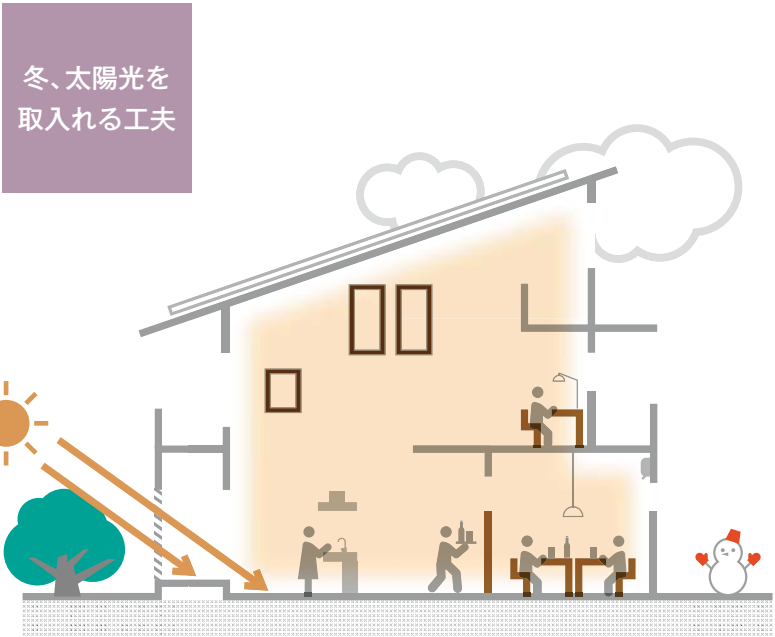
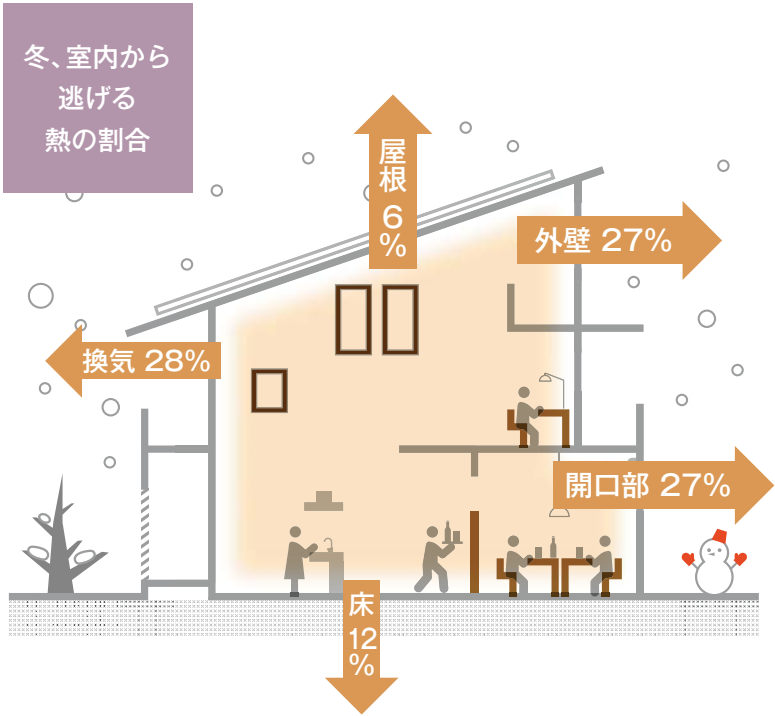
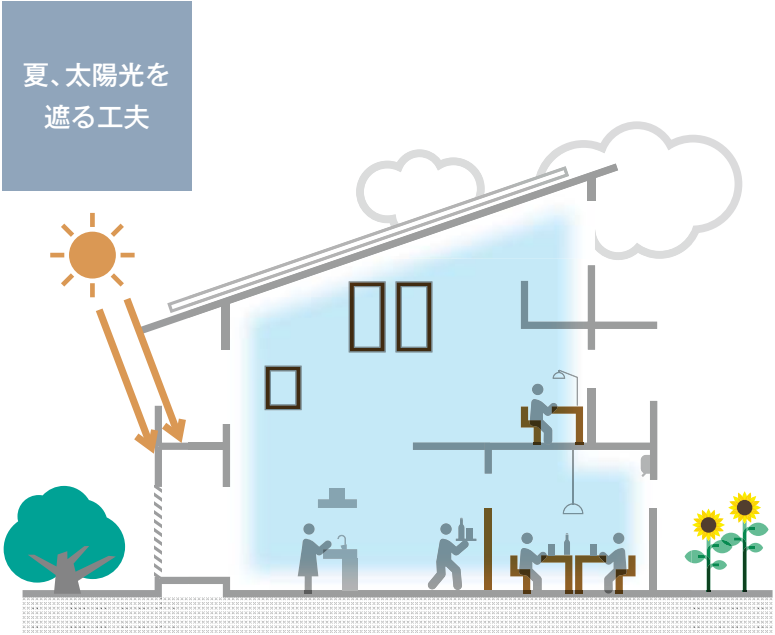
熱の流出・流入の多い開口部の断熱・遮熱がポイントに。

一般住宅において、熱の出入りが最も多いのは、窓や玄関ドアなどの開口部です。冷暖房による熱を逃がさず、少ないエネルギーで効率よく快適に過ごすためには、開口部の断熱性を高めることが重要に。スーパーウォール2×6の家では、高断熱サッシ・玄関ドアを採用し、断熱対策を行っています。



太陽光を冬は取り込み、夏は遮る。日射のコントロールが重要です。

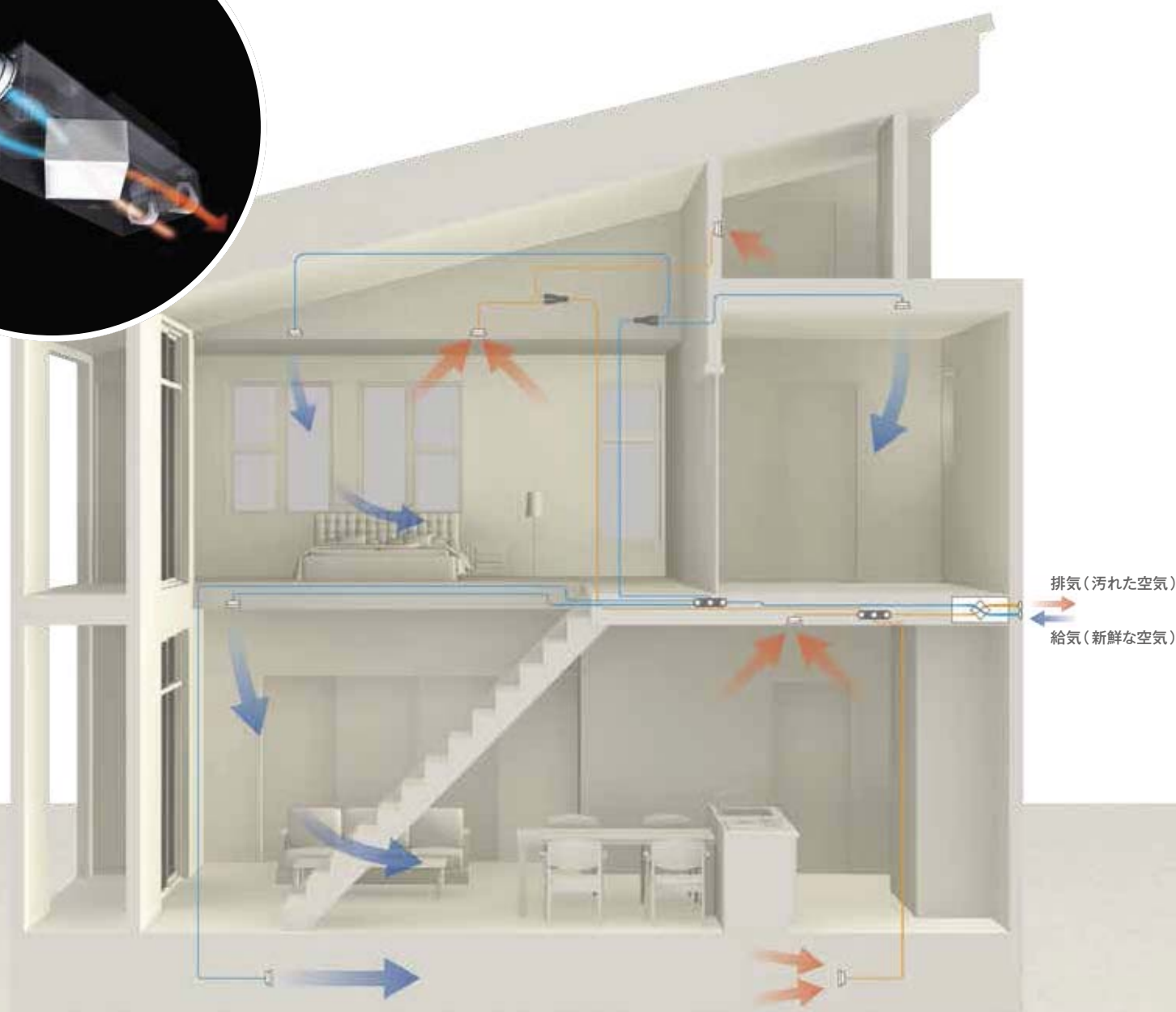
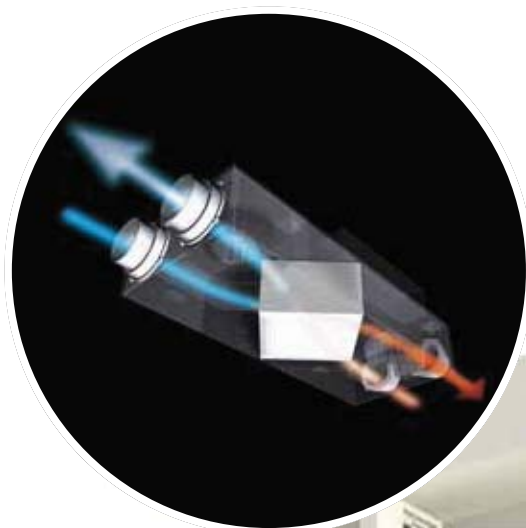
太陽の光や熱を暮らしに活かすことも、快適な住まいづくりの大切なポイントです。冬は暖かな日差しをたっぷり取り込み、夏は強い日差しを遮る工夫を行うことを基本に、季節や時間による太陽の高度や建物の方位、日射量を考慮し、採光計画を立てることが重要です。



02 空気環境

計画換気システムで 24時間、健やかな空気を保つ。

近年は、PM2.5(微小粒子状物質)などによる大気汚染、カビ・ダニ、花粉といったアレルギーの対策など、空気環境に注目が集まる中で、住まい全体の通風など、計画的な換気に目を向けることも必要です。室内の空気環境を清浄化することは、ご家族の健康のために重要なポイントです。



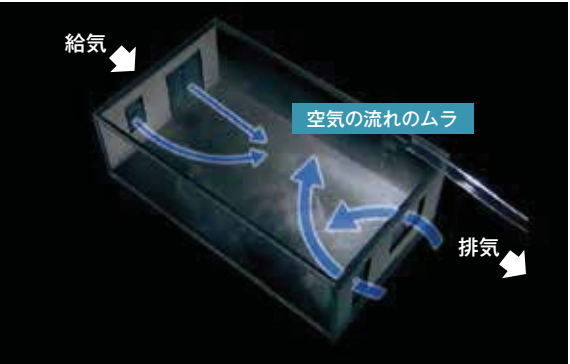
ECOAIR85・ECOAIR90を使用した計画換気のしくみ(イメージ図)

カビ・ダニの発生を抑えるためには、 空気のおよみをなくすことも必要です。

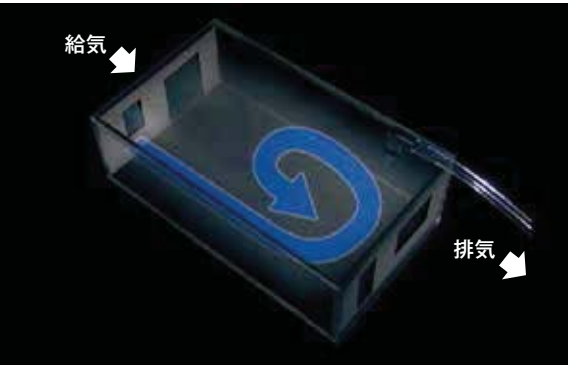
家族や住まいの健康を害する、カビ・ダニの発生は空気のおよみも原因のひとつになると言われています。スーパーウォール2×6の家は、高い気密性によって隙間を少なくすることで、外気とともに出入りするホコリや花粉などを大幅にカット。また、計画換気システムによる空気の流れにもムラがなく、住まいの隅々にゆるやかな空気が流れるため、空気のおよみを少なくし、カビ・ダニの発生を抑えます。



ウェブサイトでは、
気密性の比較実験を
動画でご覧いただけます。



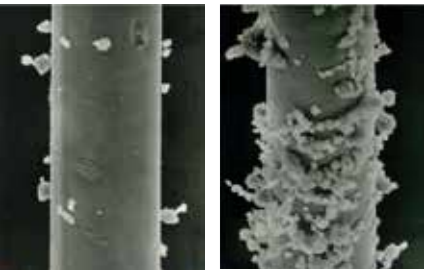
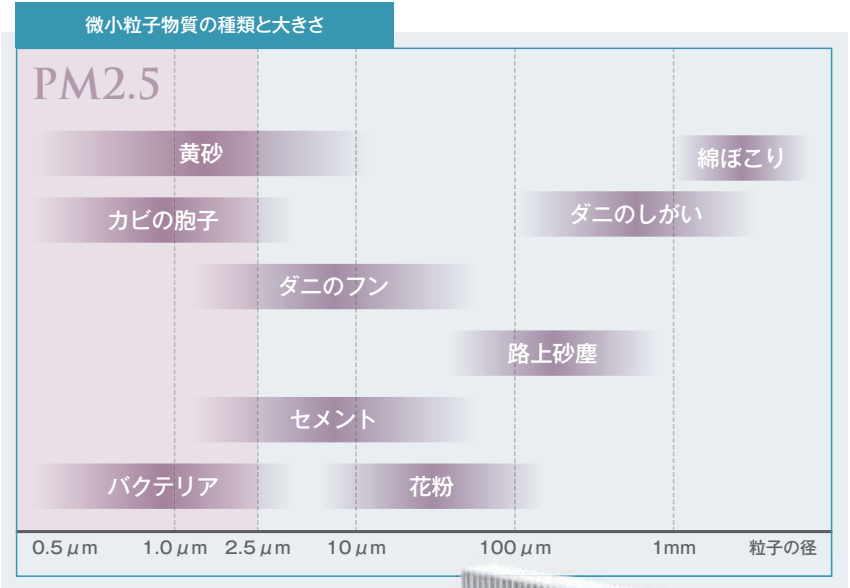
気密性の低い住宅
気密性が低い住宅では、窓や壁の隙間から外気が侵入し、空気の流れにムラができ、住まい全体の空気を隅々まで入れ替えることは難しい。



SW2×6住宅
スーパーウォール工法住宅では高い気密性能により計画的な換気が行え、空気のおよみをなくし、カビやダニの発生を抑えます。

PM2.5や花粉などの侵入を 大幅にブロックします。

新鮮な外気を取り入れ、計画的に家中の換気を行う、24時間計画換気システムですが、PM2.5 や花粉などの外気の汚染が気になる場合は、全熱交換型換気システムECOAIR85・ECOAIR90において、PM2.5対応フィルター（オプション）を使用することが可能です。2.0μm(1μm=1mmの千分の1)の微小粒子を約90%捕集することができます。



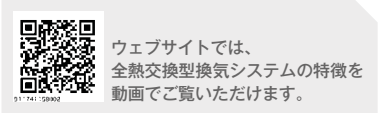
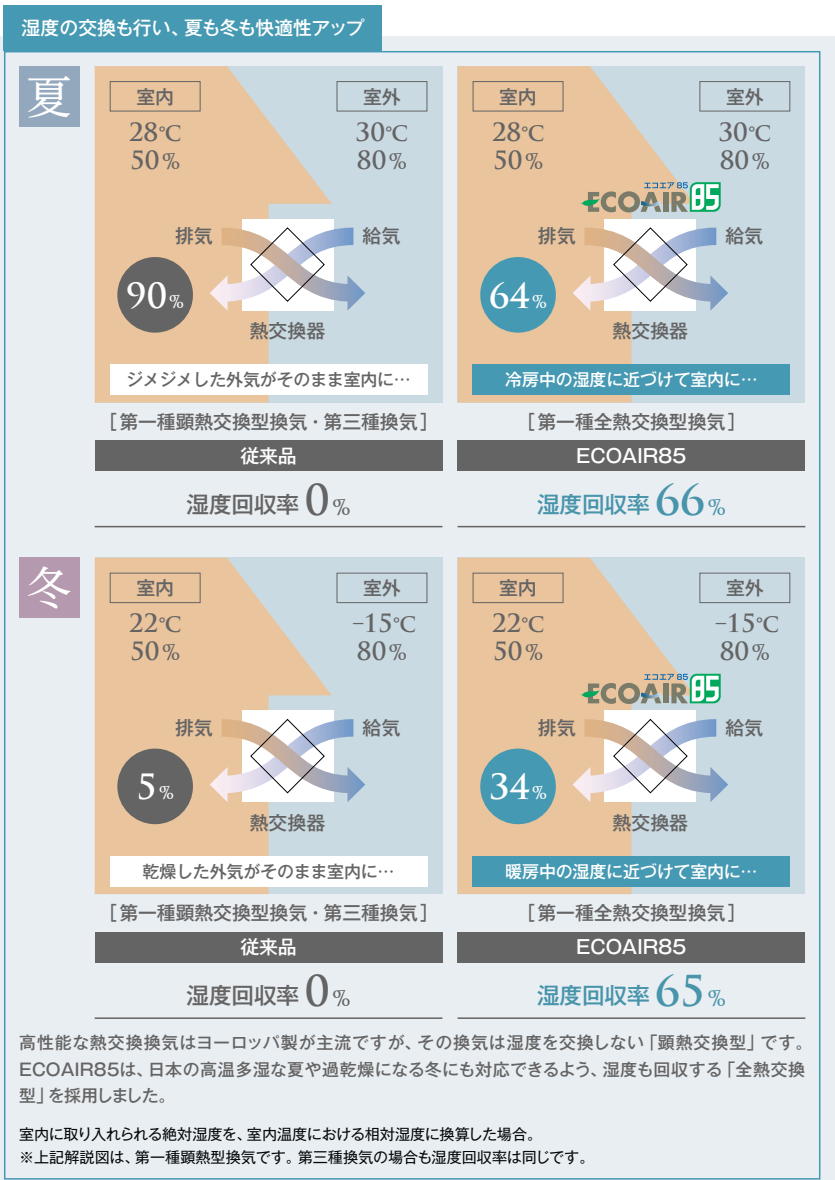
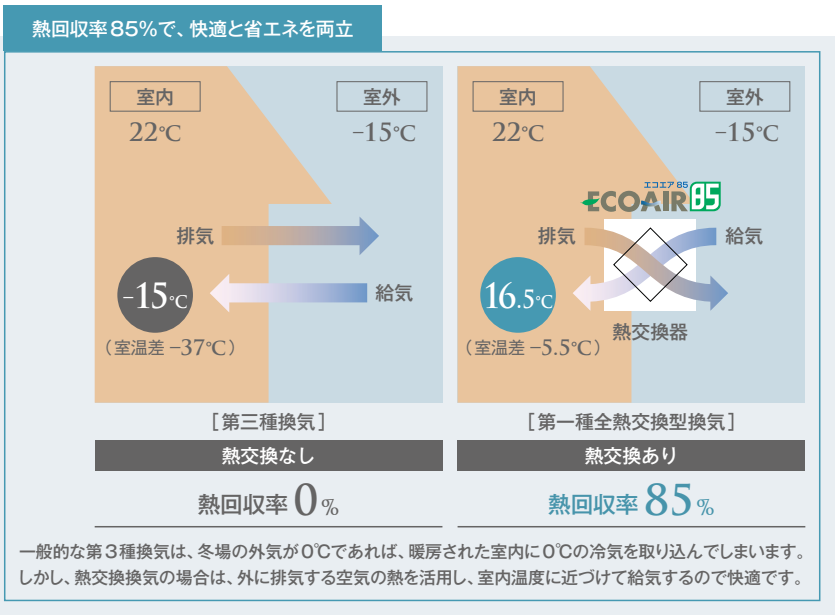
従来繊維
帯電メルトブロー不織布
PM2.5対応フィルターは、帯電メルトブロー不織布を使用。静電気により微小粒子を吸着し、すぐれた捕集性能を発揮します。



PM2.5対応フィルター
※ECOAIR85・ECOAIR90
オプション対応

室内の温度・湿度を保ちながら
効率的に換気を行います。

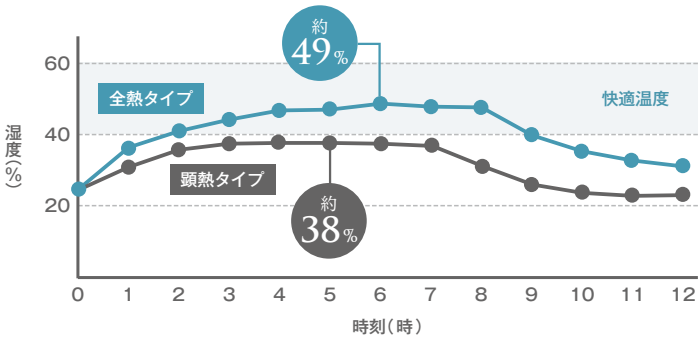
一般的に換気を行う場合、窓開けや給気口から取入れる外気とともに、外の温度や湿気も一緒に取り込んでしまいます。しかし、全熱交換型換気システム ECOAIR85を使用することにより、高効率の熱回収と湿度の交換で、室内の快適さはそのままに換気を行うことが可能に。省エネ住宅の課題でもあった、住宅の熱損失のうち換気が占める約15%の熱ロスを抑えることができ、住宅一棟の性能をさらに向上させることができます。その効果は、ECOAIR85の場合、断熱材を4倍厚くするのと同じ効果が得られることになります。



ウェブサイトでは、
全熱交換型換気システムの特徴を
動画でご覧いただけます。

冬場の過乾燥から、
快適な室内環境を保ちます。

冬場は室内の乾燥を防ぐために加湿器を使うことがありますが、顕熱交換型換気システムの場合は、乾燥した外気をそのまま取り入れるため、室内の湿度が下がり、快適な湿度を保てない場合があります。一方、全熱交換型換気システムの場合は、温度だけでなく湿度も交換するため、加湿器の設定湿度とおりの快適な湿度を保ちやすくなります。

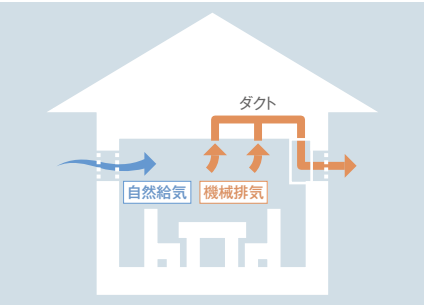


実験条件
実験建物：東京都目黒区 東京大学生産技術研究所内 COMMAハウス木造2階建て延床面積 93.31m²
加湿器：加湿能力860mL/h タンク容量6.5L 1台使用
実験日時：顕熱仕様 2014年2月12日 16:30～、全熱仕様 13日 16:40～
暖房条件：エアコン設定温度22°C
※実験では、約6時間30分から7時間の間で加湿器の水がなくなるため、以降は湿度が下がっています。

●上記性能値は、ECOAIR85によるものです。

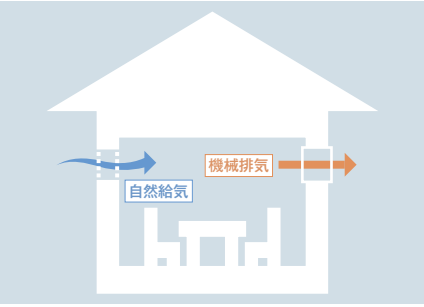
住まいの条件などに合わせて選べる 計画換気システム。

計画換気システムには、大きく分けて排気のみを機械で行う第3種換気と給排気を機械で行う第1種換気があります。スーパーウォール2×6の家では、第3種換気として排気のみダクトを使用するタイプ「けいざい君」とダクト配管が不要のタイプ「すっきり君」を、第1種換気として熱交換型のダクト式換気システム「ECOAIR85」「ECOAIR90」をご用意。建物の特徴や条件に合わせて、選択することが可能です。住まいの省エネ性を高めたい場合は、熱交換型の第一種計画換気システムをおすすめしています。



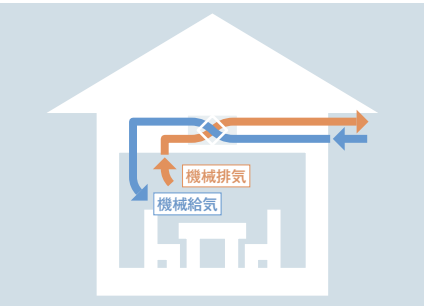
けいざい君

第3種 自然給気 機械排気
ダクトタイプ(排気のみ)



すっきり君

第3種 自然給気 機械排気
ダクトレスタイプ

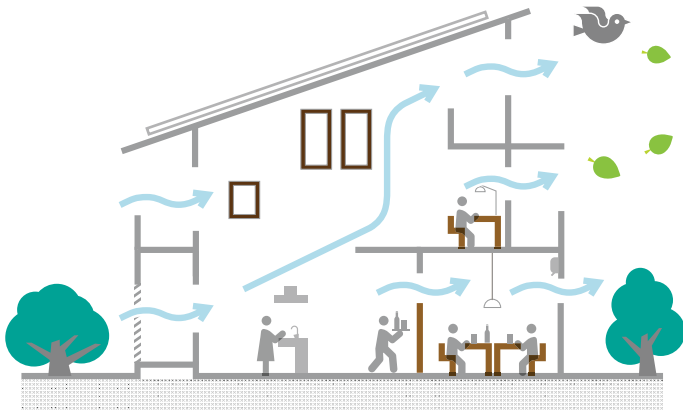


ECOAIR85
ECOAIR90

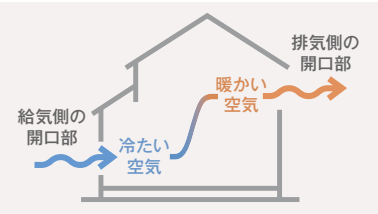
第1種 機械給気 機械排気 熱交換
ダクト式換気システム

春や秋など季節のよい時期は 自然の風を取入れて心地よく。

スーパーウォール2×6の家では、一年を通して計画換気システムの使用を基本としていますが、春や秋など季節のよい時期は、自然の風を取入れて心地よく暮らすことをおすすめしています。自然の風を取入れるには、周辺の地形や住環境を把握し、海風、川風、山から吹き降ろす風、周辺の住宅やマンションなどの建物の配置を考慮し、通風計画を立てることが大切です。

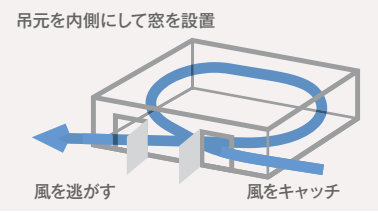


風を誘う



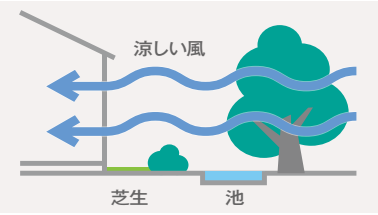
自然の風を誘うには、風や空気の特徴を上手に利用することが必要です。たとえば、温度の違いによって空気の流れをつくる「温度差換気」は、暖かい空気が上昇する特性を活かした通風方法です。

風を捕まえる



風の向きに合わせて窓を設けても、周辺の建物の影響で思うように風が通らない場合があります。そんな場合は、縦すべり出し窓を使う工夫で、家の脇を通り抜ける風を捕まえることができます。

風で冷やす

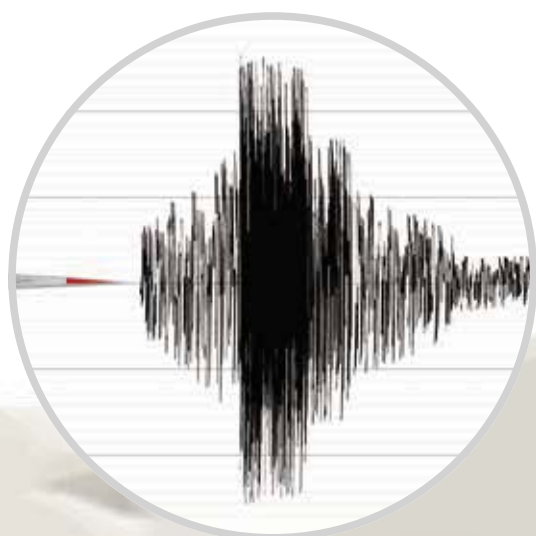


水場や植栽などを生かすことも効果的です。敷地の緑化は照り返しを防ぎ、葉の蒸散作用で空気の温度を下げるすることができます。また、池や水盆にも水の気化熱で風を冷やす効果があります。

03 災害への備え

地震・台風・竜巻など 自然災害から家族を守る。

南海トラフ地震や首都直下型地震など、巨大地震の発生が予測される近年、自然災害は地震ばかりではなく、大型台風や竜巻も頻発しています。ご家族や大切な財産を守るためには、住まいづくりにおける災害への備えをさまざまな角度から行うことが求められているのです。



木質系最大レベルの強度 8.4倍(実験値)の壁倍率を発揮。

スーパーウォール2×6パネルは、幅 140mmの2×6材を両側からOSB(9mm厚)でサンドイッチした構造、158mm厚パネルにより、水平方向からの力に対して、一般的な2×4パネルを大きく上回る耐震性能を発揮。その強さは壁倍率8.4倍(実験値)を実現し、2×4住宅のおよそ1.8倍となり、木質系で最大レベルの強度を誇ります。また、乗用車33台分の鉛直荷重にも耐えられることが確認されています。

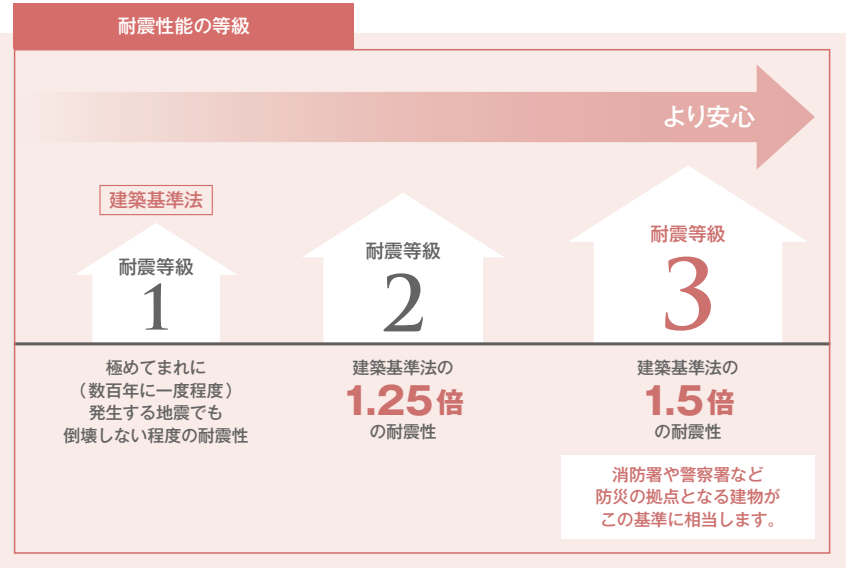
※壁倍率：壁の水平長さ1mあたり200kgの力を加えた時の壁の強度を壁倍率1倍といいます。



耐震等級3相当の設計※で 大規模な地震に備える。

住宅の耐震性能は、国土交通省が2000年に定めた住宅性能表示制度の中で、耐震等級として示されており、建築基準法では、極めてまれに(数百年に一度程度)発生する地震でも倒壊しない程度の耐震性を等級1としています。しかし、専門家の間では等級1では不十分であるという意見もあります。スーパーウォール2×6の家では、大規模な地震への備えとして、最高等級となる耐震等級3相当の設計を推奨。消防署や警察署など、防災の拠点となる建物の基準に相当し、より安全性の高い住まいが実現できます。

※耐震等級3相当の設計は、住宅会社にご相談ください。



スーパーウォールの家には
さまざまな災害における
信頼の実績があります。

地震大国である日本において、数々の大規模地震が発生する中で、スーパーウォールの家は、そのすぐれた耐震性能から、これまで地震による全壊被害の発生報告はありません。また、6面体で強い外力もしっかり受け止めるモノコック構造や高い気密性能を持つことから、巨大竜巻や台風・豪雨など、風や雨の自然災害にもその強さを発揮。記憶に新しい、東日本大震災の甚大な津波災害においても、奇跡的に倒壊を免れた例があるなど、さまざまな災害に対する信頼の実績を持っています。

甚大な被害をもたらした
大地震に負けない全壊0棟の実績。

ここ20年の間に、甚大な被害をもたらした地震災害は、10回以上を数えます。スーパーウォールの家は、これらの大規模地震にも負けることなく、お住まいいただいているご家族の暮らしの安心を守り続けています。

日本で起きた、近年の主な地震災害			
1995年	1月17日	阪神・淡路大震災	M7.3
2000年	12月6日	鳥取県西部地震	M7.3
2001年	3月24日	芸予地震	M6.7
2003年	9月26日	十勝沖地震	M8.0
2004年	10月23日	新潟県中越地震	M6.8
2005年	3月20日	福岡県西方沖地震	M7.0
2007年	3月25日	能登半島地震	M6.9
2007年	7月16日	新潟県中越沖地震	M6.8
2008年	5月8日	平成20年茨城県沖地震	M7.0
2008年	6月14日	岩手・宮城内陸地震	M7.2
2008年	7月24日	岩手県沿岸北部地震	M7.2
2011年	3月11日	東日本大震災	M9.0

【理科年表】国立天文台、気象庁 被害地震情報を参考に作成

スーパーウォール工法が
誕生してから現在(2015年12月)まで、
スーパーウォール住宅の地震による
全壊の被害報告はありません。

災害レポート

2004年 新潟県中越地震
集落が壊滅的な被害を受けた中で
全半壊を逃れたスーパーウォール住宅



新潟県川口町 M様邸
「16軒の集落で15軒が全壊・半壊する中で、ウチだけが少ない被害で済みました。国交省の方から、図面を見せて欲しいと言われました」



新潟県川口町 S様邸
「約100件の集落で9割の建物が全半壊しました。この家にいれば安心と思い、ずっと家の中にいました。震災後も自宅で暮らせるのはありがたいです」



調査エリア：震度6以上を記録した中越エリア
全・半壊：0棟
一部損壊：39棟（壁紙の割れ、エアコンの脱落など軽微な損傷）
被害なし：167棟

2006年 北海道佐呂間町竜巻
建物の上を巨大竜巻が通過
周囲は倒壊する中で構造躯体は無事



北海道佐呂間町 K様邸
「翌日には電気も復旧し、そのまま生活が続けられました。周囲の建物が倒壊する中、この程度の被害で済んでよかったです」



屋根の板金と野地、たるきが飛散
サッシのガラス破損（南面は割れたが、他は一部のみ）
外壁の損傷（飛来物の衝突による）

2009年 中国・九州北部豪雨

記録的な大雨による災害の中で
被害を最小限に食い止めた



山口県山口市 Y様邸

「このくらいの被害で済んで本当によかった。通常の
家だったらもっと被害がひどかったと思います」



山口県防府市 N様邸

「スーパーウォールの家はすごいですね。家を建て
替えるときも、ぜひ頼みたいと思います」



山口県防府市 H様邸

「本当にご近所には申し訳ないですが、被害がほとん
どなくてよかったです」



2011年 東日本大震災

まわりが津波で水没していた中で
1センチ程度の床上浸水のみ



宮城県多賀城市 H様邸

「地面から1.5メートルの高さまで津波が押し寄せま
した。そんな中、1センチ程度の床上浸水で済み、大
きな被害もなかったのは驚きです」



2011年 東日本大震災

地震と津波で周囲の家が倒壊
一邸だけ残ったスーパーウォール住宅



宮城県南三陸町 T様邸

「大きな津波にのみ込まれ、1階の窓ガラスは割れ、
一部外壁や屋根材は剥がれたものの建物はしっかり
残り、いち早く復旧。本当に奇跡のようです」

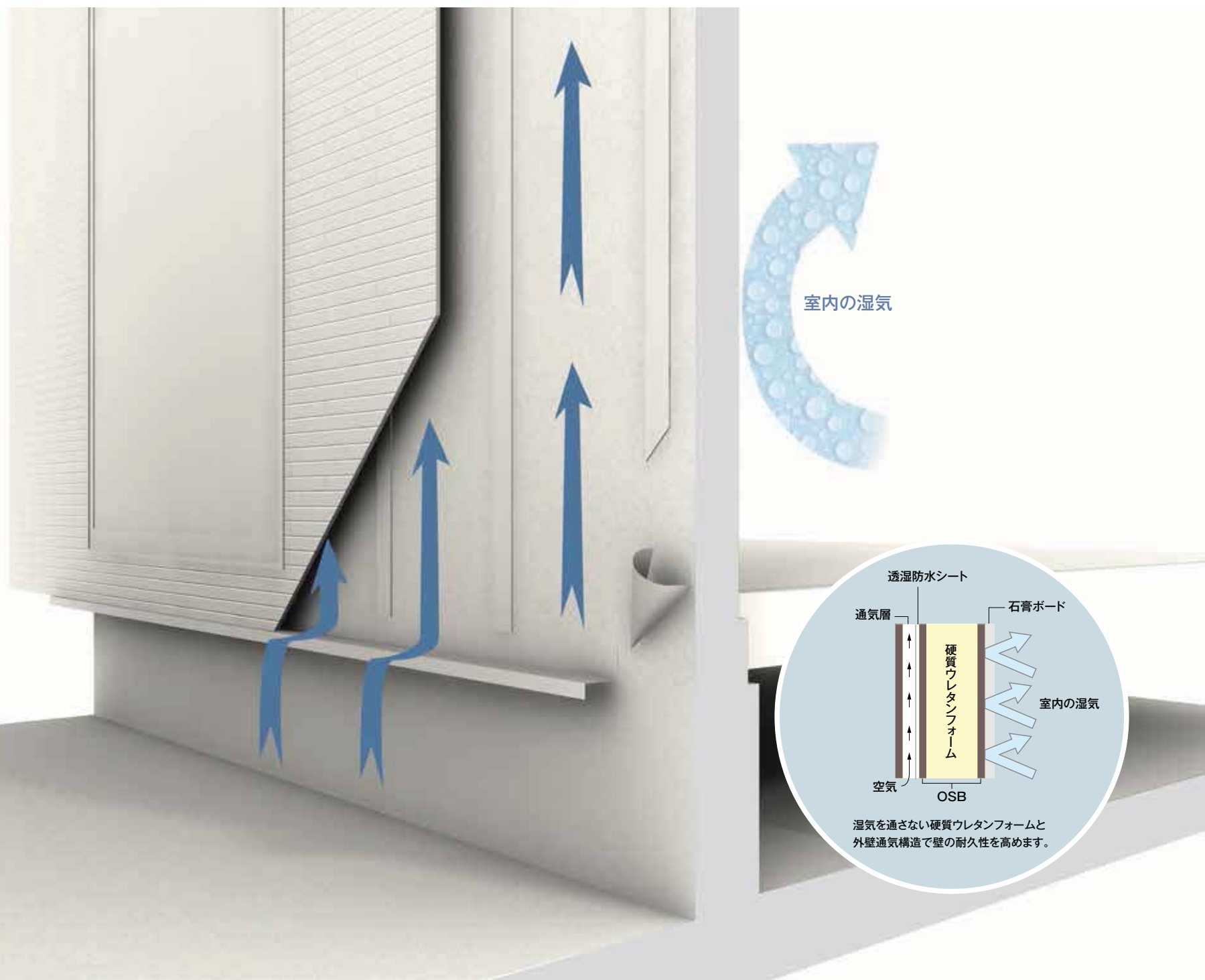


04 耐久性

通気層構造と高性能断熱材が 住まいの耐久性を高める。

末永く快適に暮らすために、世代を超えて住み続ける家であるために、また、資産価値を維持し続けるために、建物の耐久性を見逃してはなりません。一番のポイントは、湿気による壁内部への結露の発生を抑えること。特に断熱材の耐湿性がそのカギとなります。

16

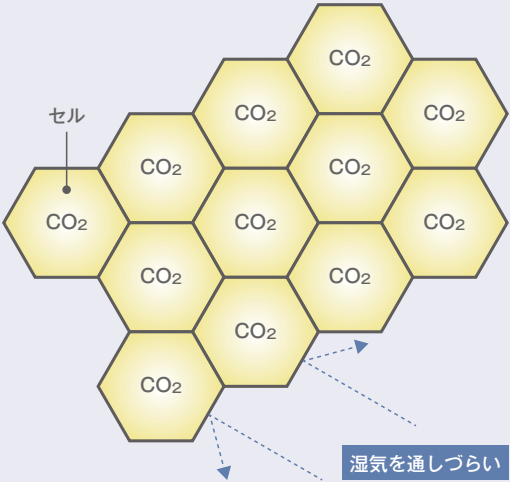


最高水準の性能を持つ断熱材が 壁の内部結露を抑えます。

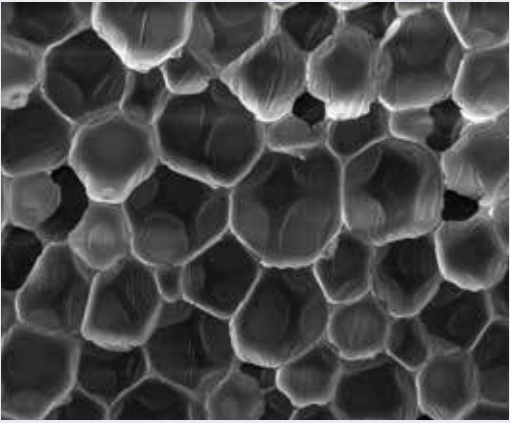
スーパーウォール2×6の家で使用している断熱材は、高性能な硬質ウレタンフォームです。その特長は湿気を通しにくく、グラスウール比およそ2倍^{※1}の断熱性能。壁の内部結露を抑えることができるため、住まいの耐久性向上に効果を発揮します。また、瑕疵保証では保証されない断熱材内部の結露による劣化を35年間保証^{※2}します。

※1 グラスウール(16K)との断熱性能比較
※2 保証対象となる断熱材は、壁パネル、屋根パネル、小屋パネルに使用している硬質ウレタンフォームとなります。

硬質ウレタンのメカニズム



スーパーウォール2×6パネルで使用している硬質ウレタンフォームは、独立気泡フォームで、小さな硬い泡(セル)が独立しており、湿気を通しにくい構造になっています。

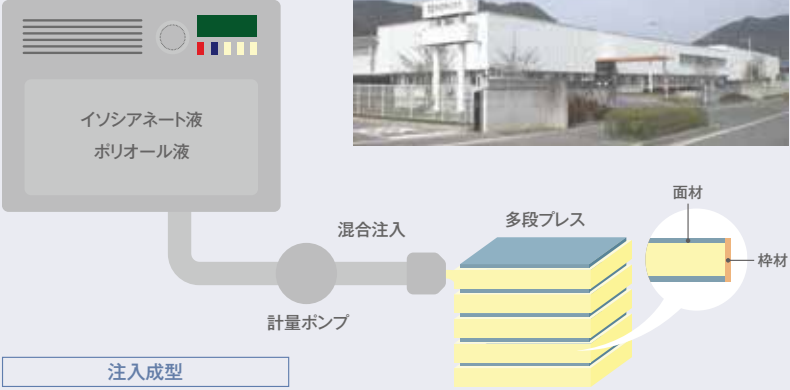


左は硬質ウレタンフォームの顕微鏡写真です。小さな気泡(セル)の集合体であることがわかります。硬質ウレタンフォームのセル内は、炭酸ガス(CO₂)で満たされています。

現場発泡ではなく工場生産に こだわる理由があります。

硬質ウレタンフォームは、イソシアネートとポリオール液の2液を用いて混合・化学反応させて合成した発泡体です。単純なメカニズムで成型するため、条件を間違えると良品のウレタンは成型されません。LIXILの工場では、2液の調合比率、温湿度環境、発泡面の温度、発泡方法など、徹底した品質管理を行っています。現場における発泡ではなく工場生産にこだわる理由は、高性能なウレタンフォームの安定した品質を維持するために、細部にわたる品質管理が必要であるからなのです。

安定した品質を保つ工場生産

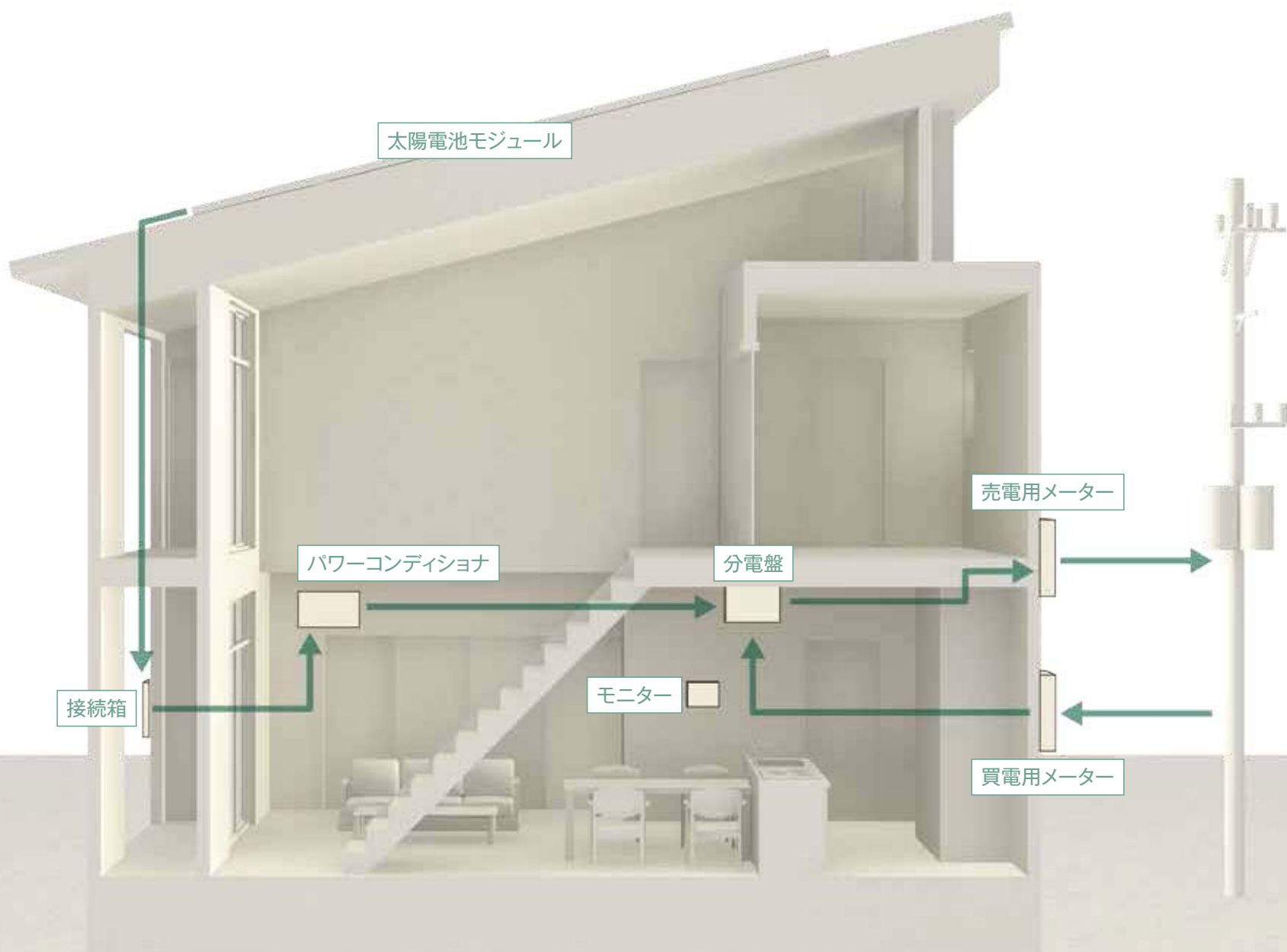


硬質ウレタンフォームは工場内の設備で製造します。加圧プレスの中で表面材と枠材の内部の空間にポリウレタン原液を注入し、発泡させます。

05 省エネ・創エネ

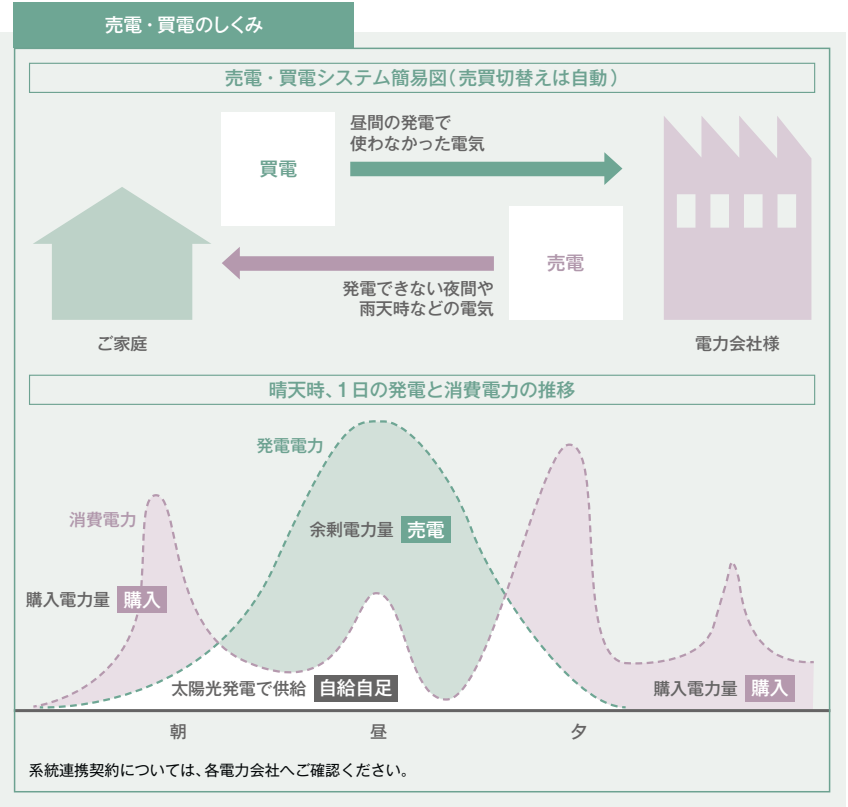
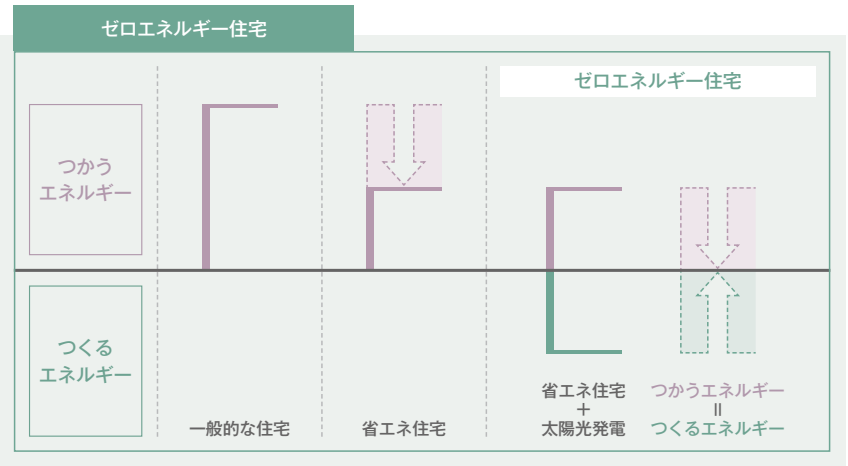
省エネからゼロエネへ 暮らしのエネルギーを家でつくる。

国の省エネルギー施策では、2020年までにZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)を標準的な住宅にすることを目標として掲げています。これからの時代に求められるのは、省エネ+創エネによるゼロエネ住宅。スーパーウォール2×6の家もこのテーマに積極的に取り組んでいます。



太陽光発電を利用した ゼロエネ住宅でかしこく暮らす。

ゼロエネルギー住宅とは、建物の省エネ化+機器の高効率化により使用エネルギーを削減し、さらに、太陽光発電などの創エネルギーを用いることで、エネルギー収支がゼロになる住宅のことです。また、HEMSや蓄電池を用いることで、暮らしのエネルギーを最適に制御。余った電気は売電することができるため、プラス収支を実現することも可能に。自宅で電気をつくることができるため、万が一、停電が発生しても電気を使うことができ、災害の備えとしても安心です。



暮らしのエネルギーの見える化で 省エネ効率をさらに高めます。

暮らしのエネルギーの見える化を実現するモニターの使用によって、省エネ意識が高まり、約10%*エネルギーの使用を抑えることができるという調査結果があります。「使用量より発電量のほうが多かった」「先月より光熱費が安くなった」など、目に見える結果はうれしく、励みになります。また、部屋ごとに節電競争をしたり、電気をつけっぱなしに気をつけるなど、ご家族でお子様と一緒に、無理なく楽しく、省エネな暮らしが楽しむことができます。

* (財)省エネルギーセンターホームページ(2009年)より



省エネモニターの使用で、暮らしも意識も変わります。

太陽光による発電量・売電量がわかる

部屋ごとの電気消費量がわかる

スーパーウォール2×6の家なら
12万円以上の水道・光熱費を節約。

スーパーウォール2×6の家は、一般住宅と比較して、冷暖房・換気・給湯・照明などの光熱費を24%削減することが可能です。さらに、水道費においても40%の削減が行え、全体で26%の水道・光熱費を削減。年間で124,720円の節約を実現することができます。これらのランニングコストシミュレーションは、家族構成や住まいの条件、地域などによっても変わるため、一邸一邸、建てる前にシミュレーションを行い、お客様にご確認いただくことができます。

ランニングコストシミュレーション

水道・光熱費の概算（年間）

	一般住宅	SW2×6住宅	増減
電気代	106,300円	104,480円	2%減
ガス代	138,250円	198,760円	44%増
灯油代	155,910円	0円	100%減
水道代	69,350円	41,850円	40%減
合計	469,810円	345,090円	26%減

一般住宅と比べて
124,720円節約できます。

二酸化炭素排出量（年間）

一般住宅	SW2×6住宅	増減
7,073 kg	4,246 kg	40%減

計算方法

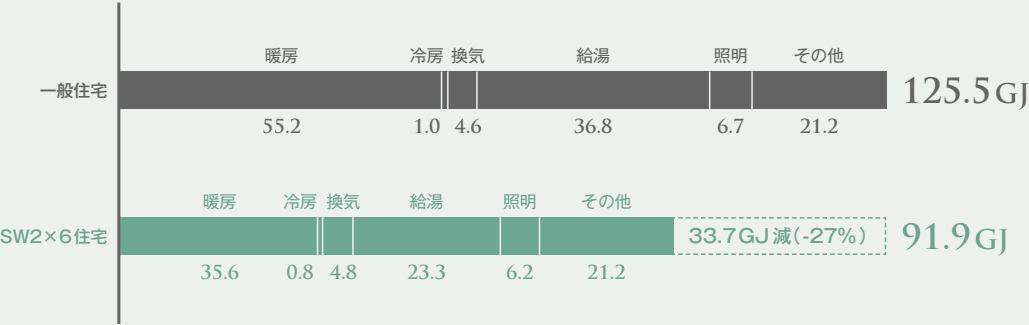
家族人数	4人
延べ床面積	120.1m ²
都道府県	北海道
地域区分	1地域

住宅プラン	自立循環型住宅 一般地モデルプラン
一般住宅仕様	昭和55年省エネルギー基準I地域適合レベル
SW住宅仕様	2020年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会「HEAT20」G2基準1地域適合レベル

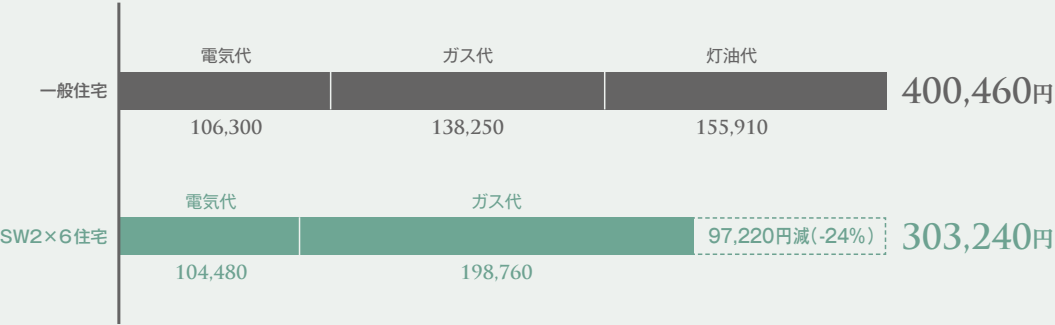
	一次エネルギー換算	CO ₂ 換算	契約内容
電気	9.76 MJ/k Wh	0.43 kg/k Wh	北海道電力 従量電灯B
ガス	45 MJ/m ³	2.25 kg/m ³	北海道ガス株式会社
灯油	37 MJ/L	2.5 kg/L	
水道	—	0.23 kg/m ³	

一般住宅とは、90年代の一般的な断熱仕様の戸建てで家族人数・新居の地域を考慮して標準値としています。
水道費は東京都水道局による、家族人数別の水道消費量、用途別使用割合をもとに、節水トイレ、節湯型機器の節水効果を評価し、消費量を推計しています。
※金額は全て税込です。

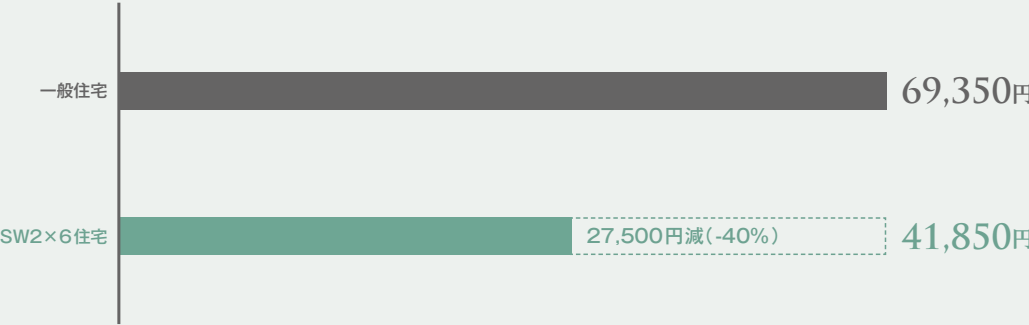
一次エネルギー消費比較（GJ／年）



光熱費比較（円／年）



水道費比較（円／年）



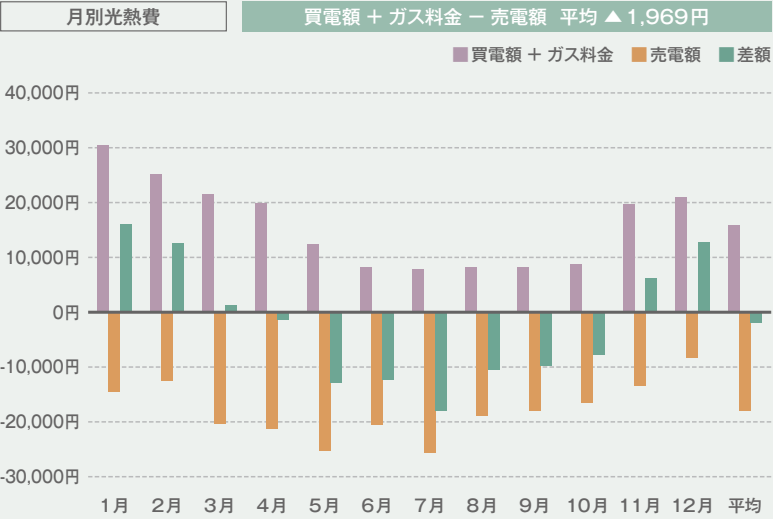
省エネからゼロエネルギー化まで 暮らしのエネルギーを削減。

北海道においてもスーパーウォール2×6の家に太陽光発電システムを採用したゼロエネルギー住宅がひろがってきています。また、住まいの条件にあわせて、光熱費ゼロをめざす家、太陽光発電を使用しないで光熱費を削減した家など、さまざまな方法で暮らしのエネルギーを抑え、快適な毎日を過ごしておられるオーナー様が増えています。

光熱費ゼロをめざした住宅 北見市 S様邸

太陽光 5.0KW 年間光熱費 -23,629円

「年間で光熱費が2万4千円ほど浮いて、お小遣いみたいになっています。また、快適さが違うこともわかりました。北海道でも一番寒い地域に関わらず、冬の寒さを感じず光熱費がかからないなんて夢みたいなお話です」

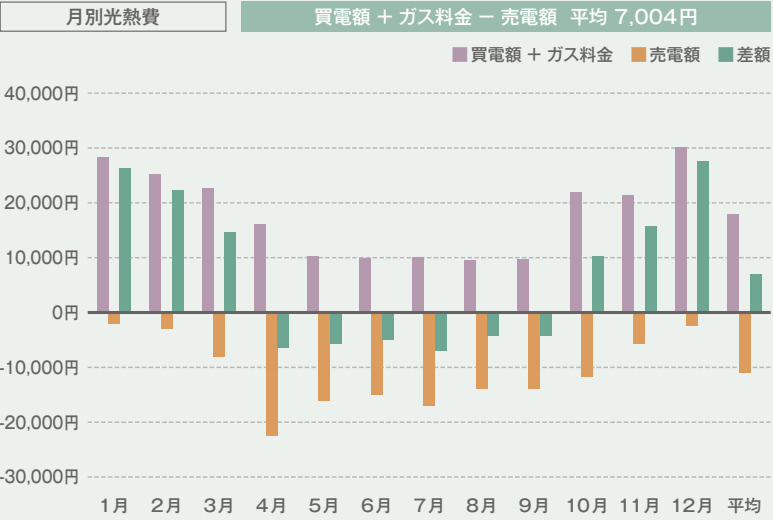


基本情報		基本性能値		設備機器情報	
家族構成	夫婦	U _A 値	0.28W/m ² K	暖房・給湯方式	ガス潜熱熱回収型温水給湯暖房器
延べ床面積	119.65m ²	C値	0.16cm ² /m ²	※充電額は、42円／kWhにて算出しています。	
階数	2階建て				

光熱費ゼロをめざした住宅 札幌市 S様邸

太陽光 4.5KW 年間光熱費 約84,046円

「光熱費の軽減や国からの補助金が受けられることから、太陽光発電を採用したゼロエネルギー住宅にしたのですが正解でした。4月から9月までの6ヶ月間は光熱費より売電額の方が多く、年間光熱費がとってもおトクで満足しています」

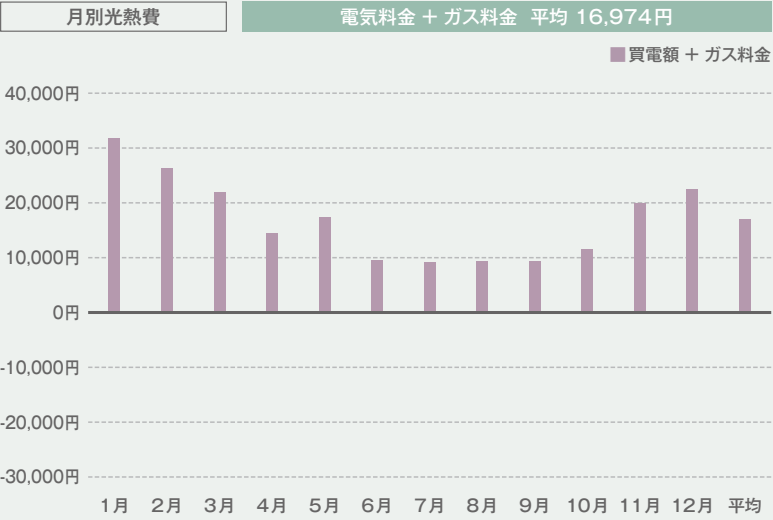


基本情報		基本性能値		設備機器情報	
家族構成	夫婦+子供2人	U _A 値	0.34W/㎡K	暖房・給湯方式	ガス潜熱熱回収型温水給湯暖房器
延べ床面積	112.69㎡	C値	0.23cm ² /㎡		
階数	2階建て	※売電額は、42円／kWhにて算出しています。			

光熱費ゼロをめざした住宅 北見市 H様邸

太陽光なし 月平均光熱費 16,974円

「聞いた話のとおりで、本当に暖かいです。30坪というコンパクトな設計をしてもらいましたが、狭さもあり感じず大満足。なにより、光熱費、維持費が安く済んでよかったです」



基本情報		基本性能値		設備機器情報	
家族構成	夫婦+子供1人	U値	0.36W/m ² K	暖房・給湯方式	ガス潜熱熱回収型温水給湯暖房器
延べ床面積	99.37m ²	C値	0.13cm ² /m ²		
階数	2階建て				

06 音環境

すぐれた遮音性能により 音のストレスから解放する。

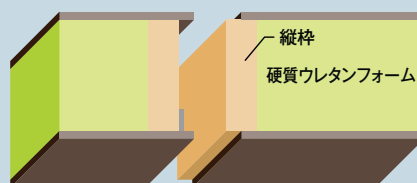
暮らしにおける、音を取り巻く環境はさまざまです。車や電車の騒音、ご近所から聞こえるピアノ音、犬の鳴き声、室内においては子どもがはしゃぐ声や趣味で楽しむオーディオの音漏れへの心配など、ストレスを感じることが多くありますが、住まいの遮音性を高めることで解消できます。

22

スーパーウォール2×6の家の 遮音性が高い理由

音の侵入や音漏れは、主に建物の隙間などを出入りしています。スーパーウォール2×6の家は、高気密施工のため、すぐれた遮音性能を発揮。高断熱サッシ・複層ガラス仕様などによって、遮音性能をさらに高めています。

高性能パネル



高気密施工

サッシ

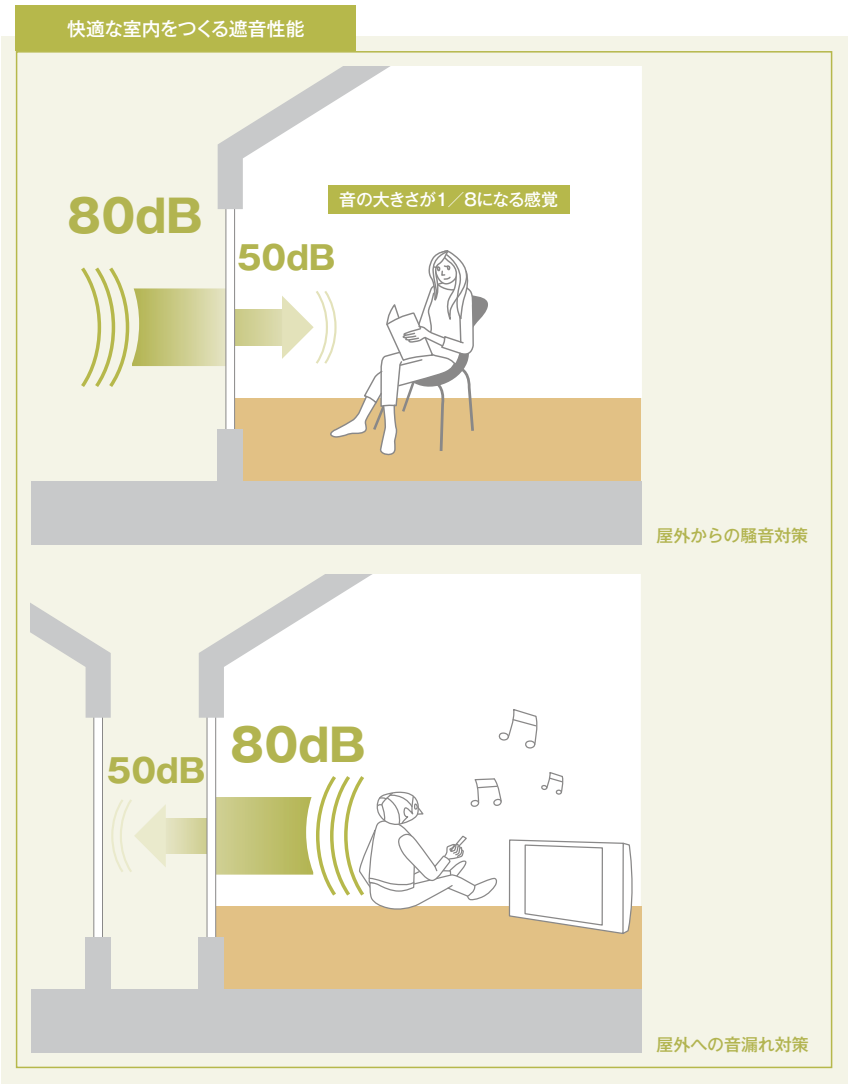


気密性+トリプルガラス

80dBの騒音も50dBまで減衰※することができます。

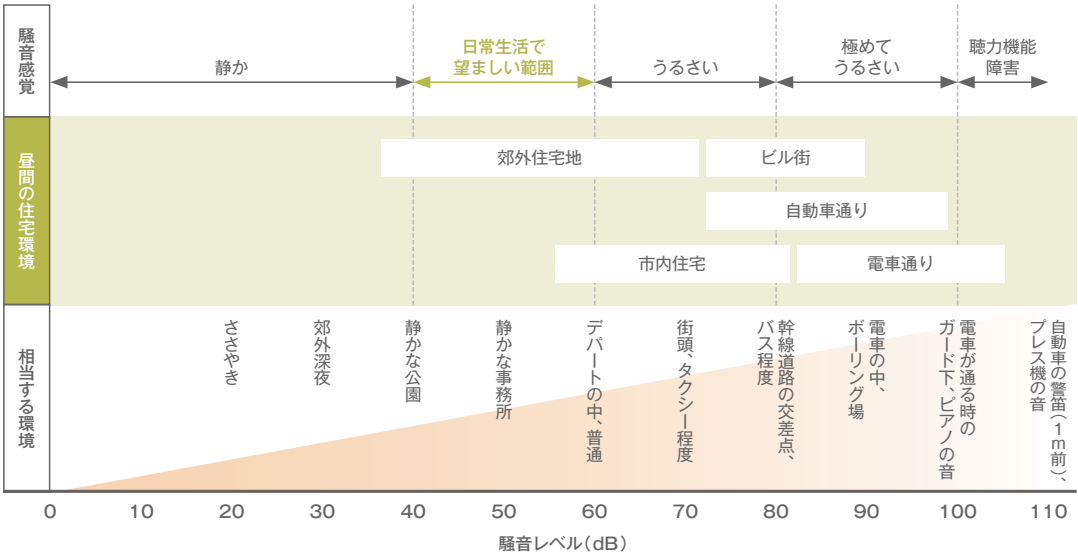
スーパーウォール2×6の家の室内は、外からの騒音が気になる環境においても、睡眠や勉強などの妨げにならないほど静かで快適な空間です。また、楽器の演奏など屋外への音漏れへの心配についても、すぐれた遮音性能によって、周囲を気にすることなく、音のストレスから解放される室内環境を実現します。

※モデル住宅での計測結果による（周波数500Hzの場合）



日常生活における快適な音環境とは。

近隣での騒音や家の中の生活音は、日々の暮らしにおいて気になることが多いもの。住宅環境や時間帯、生活のパターンによっても、うるさく感じる程度が異なります。スーパーウォール2×6の家の遮音性能に加え、気密性の高いドアを使用することで、さらに効果的に遮音することができます。また、生活音は、二重床にしたり、じゅうたんを敷くなどの工夫で軽減することが可能です。



出典：社団法人 日本サッシ協会

07 品質と保証

スーパーウォール2×6の家は 安心の品質をお約束します。

住宅は一生で最も高価な買い物です。そして、ご家族の大切な資産になるものです。だからこそ、スーパーウォール2×6の家は、万全の品質管理と保証でお応えし、一邸一邸で実施する住宅性能の確認から部材の保証まで、建てる前も建てた後も、安心の品質をお約束します。



断熱材内部の結露による劣化を 35年間保証します。

スーパーウォール2×6パネルに使用している断熱材は、水分を透しにくい硬質ウレタンフォームを採用。室内からの湿気をガードし、断熱材内部に結露を発生させない高性能な断熱材です。LIXILは、瑕疵保証（10年間）では保証されない断熱材内部の結露による劣化を35年間保証^{*}します。

^{*}保証対象となる断熱材は、壁パネル、屋根パネル、小屋パネルに使用している硬質ウレタンフォームとなります。

全棟で気密測定を実施し、 性能報告書を発行しています。

スーパーウォール2×6の家は、住宅の構造体と開口部（サッシ・ドア）の工事が完了した段階で、全棟において気密測定を実施します。さらに、設計時の熱計算により算出された、温熱性能と外皮性能、測定した気密性能を数値でご確認いただける性能報告書^{*}を作成し、お客様にお渡ししています。

^{*}性能報告書は、住宅の性能値を確認していただくもので、性能を保証するものではありません。

「防火構造」と「準耐火構造」の 国土交通大臣認定を取得しています。

スーパーウォール2×6パネルは、公的な防火試験に合格し、「防火構造」と「準耐火構造」の国土交通大臣認定を取得しています。そのすぐれた安全性から、防火制限地域においても、必要に応じて建築規制に対応することが可能で、火災のリスクからも大切なご家族や財産を守ります。

万全の品質管理により、 高精度な部材を供給しています。

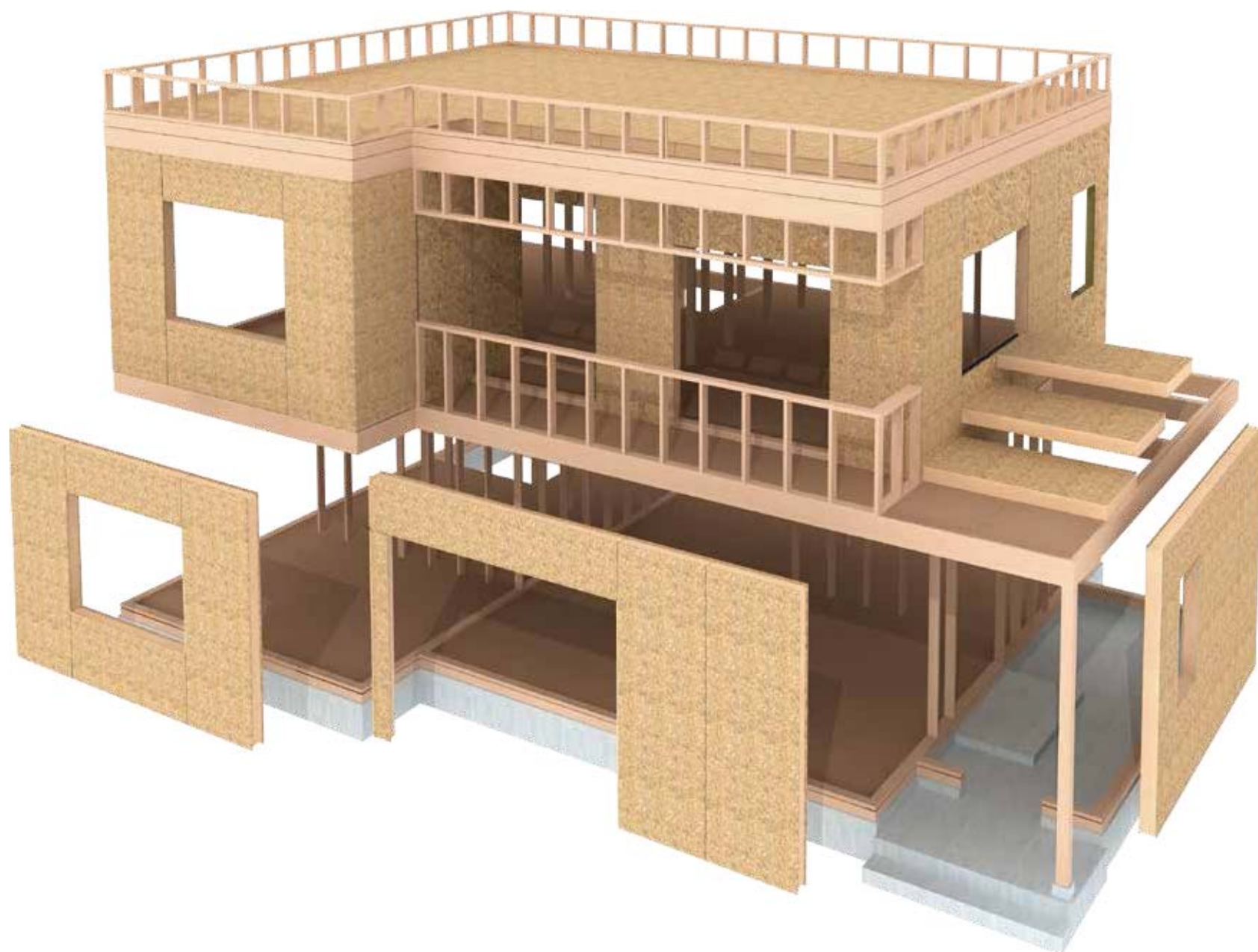
高い性能を安定して発揮できるよう、スーパーウォール2×6パネルなどの部材は、部材メーカーであるLIXILの工場で厳しい品質管理のもと高精度加工を施しています。また、建ててからでは見えない住宅内部の構造部分にスーパーウォール2×6パネルが採用されていることを証明する「出荷証明書」を発行しています。

高精度なスーパーウォール2×6パネルを 安定供給する部材工場。

加工から組み立て、検査まで、すべての工程において、厳しい基準で品質管理を行うLIXILの部材工場。性能にばらつきのない、高精度なスーパーウォール2×6パネルを全国に安定供給しています。



スーパーウォール2×6 基本構造



26

6面体の一体化構造である
強靱なモノコック構造。

スーパーウォール2×6は、壁・床・天井が一体化した箱形を構成するモノコック構造。航空機や自動車ボディの技術から発達した構造で、大きな外力にも変形しにくい特徴を持ちます。住宅においては、地震や台風などの外力が接合部などに集中しにくく、建物全体に分散するため、ひずみやくるいに強さを発揮します。



一般的な在来工法
(筋交い補強)



スーパーウォール2×6
(モノコック構造)

壁パネル

硬質ウレタンフォーム
枠材
OSB

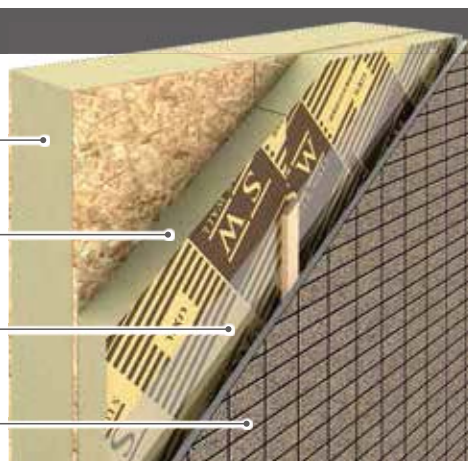
壁パネルの仕様

室外側面材／種類：OSB（JAS構造用パネル4級F☆☆☆☆）
厚さ：9mm

断熱材／種類：A種硬質ウレタンフォーム保温板1種相当品（ノンフロン・ノンホルム）
熱伝導率：0.024W/mK 透湿係数：185以下[厚さ25mmあたりng/(m²sPa)]
厚さ：140mm

DUAL EX／IN パネル

SW2×6
（硬質ウレタンフォーム 140mm）
EXパネル
（硬質ウレタンフォーム 50mm）
透湿防水シート
外壁サイディング



※断面CGはDUAL EXです。

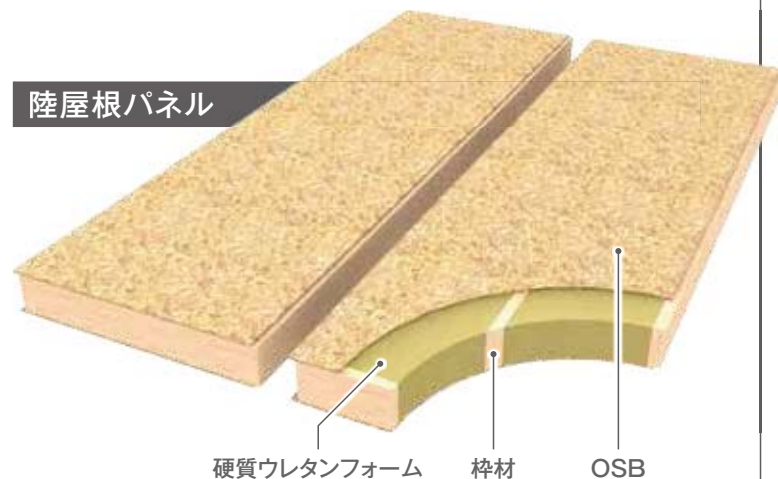
DUAL EX／IN パネルの仕様

断熱材／種類：A種硬質ウレタンフォーム保温板1種相当品（ノンフロン・ノンホルム）
熱伝導率：0.024W/mK
透湿係数：185以下[厚さ25mmあたり ng/(m²sPa)]
厚さ：50mm (EXパネル)・30mm (INパネル)

内装材 (INパネル)／せっこうボード
厚さ：9.5mm

陸屋根パネル

硬質ウレタンフォーム 枠材 OSB

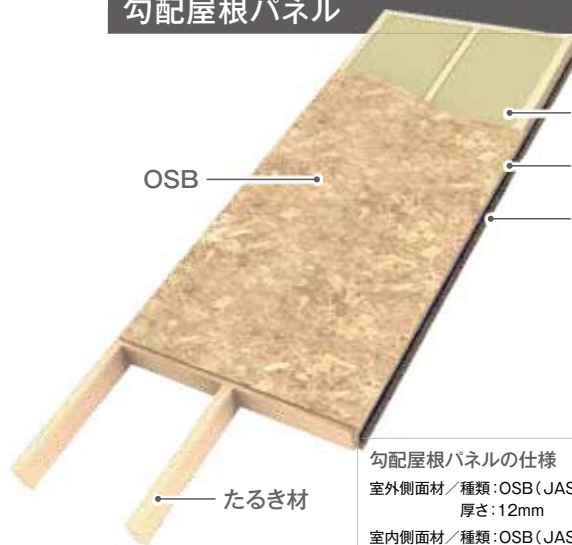


陸屋根パネルの仕様

断熱材／種類：A種硬質ウレタンフォーム保温板1種相当品（ノンフロン・ノンホルム）
熱伝導率：0.024W/mK 透湿係数：185以下[厚さ25mmあたりng/(m²sPa)]
厚さ：140mm

勾配屋根パネル

硬質ウレタンフォーム
気密テープ
OSB
OSB
たるき材



勾配屋根パネルの仕様

室外側面材／種類：OSB（JAS構造用パネル3級F☆☆☆☆）
厚さ：12mm

室内側面材／種類：OSB（JAS構造用パネル4級F☆☆☆☆）
厚さ：9mm

断熱材／種類：A種硬質ウレタンフォーム保温板1種相当品（ノンフロン・ノンホルム）
熱伝導率：0.024W/mK
透湿係数：185以下[厚さ25mmあたりng/(m²sPa)]
厚さ：140mm

スーパーウォール2×6パネルは、 公的な防火試験に合格しています。

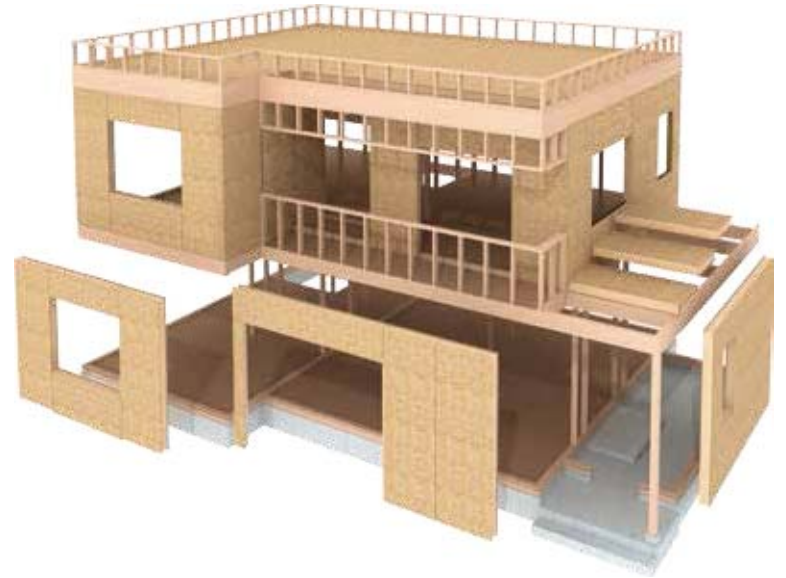
スーパーウォール2×6パネルは、「防火構造」と「準耐火構造」の大臣認定を取得しています。そのすぐれた安全性から、防火制限地域においても、必要に応じて建築規制に対応することが可能です。

試験：(財)建材試験センター



スーパーウォール2×6は、 全棟高気密住宅

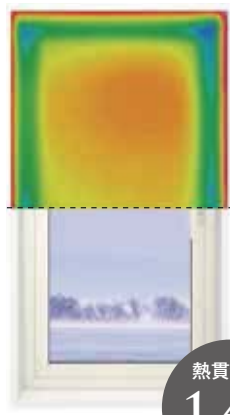
スーパーウォール2×6では、高気密住宅の目安となるC値2.0を超える、C値1.0を基準とし、全棟において高気密住宅を目指しています。そして、住宅の構造体と開口部（サッシ・ドア）の工事が完了した段階で、一邸一邸、気密測定を実施し、性能値を確認。お客様にも性能報告書にてご確認いただいております。



世界トップクラスの断熱性能

従来品 樹脂窓

エルスターX



熱貫流率
1.48
W/(m²·K)
※1



熱貫流率
0.79
W/(m²·K)
※2

※1 縦すべり出し窓 TF 16513
複層ガラス（アルゴンガス入り）
Low-Eグリーン（3-16-3）
JIS A 4710-2004による公的機関試験値
画像はイメージです。

※2 縦すべり出し窓 TF 16513
トリプルガラス（クリプトンガス入り）
内外Low-Eグリーン（3-12-3-12-3）
アングル付・アングルなし（アングル付同等納まり）
JIS A 4710-2004による社内試験値

開口部の断熱性を高める 高断熱サッシ&ガラス

住宅において熱の流入が最も多い開口部については、すぐれた断熱効果で外気温の影響を受けにくく、カビ・ダニの原因ともなる結露の発生を抑える、高断熱サッシの採用を推奨しています。また、ガラスについては、住まいの地域やプランに合わせて、断熱性・機能性にすぐれたガラスの選定を推奨しています。



スーパーウォール 2×6 基本性能値

スーパーウォール 2×6では、住宅性能の目標値として、HEAT20 G1グレードを推奨しています。HEAT20とは「2020年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会」のことで、省エネルギーと室内温熱環境の質の観点から「目指す目標像と要求水準」としてグレード値が提案されています。

HEAT20 推奨グレードと各基準（外皮平均貫流率）

断熱性能推奨水準 外皮平均熱貫流率UA値 [W/(㎡・K)]（2015.11案）

推奨グレード	地域区分						
	1	2	3	4	5	6	7
HEAT20 G2	0.28 (1.1)	0.28 (1.1)	0.28 (1.1)	0.34 (1.3)	0.34 (1.3)	0.46 (1.6)	0.46 (1.6)
HEAT20 G1	0.34 (1.3)	0.34 (1.3)	0.38 (1.4)	0.46 (1.6)	0.48 (1.6)	0.56 (1.9)	0.56 (1.9)

〔HEAT20 外皮性能グレードと住宅シナリオ〕より（2015年12月改訂版）
（ ）内は住宅熱損失係数Q値 [W/(㎡・K)] に置き換えた場合の想定値

省エネルギー基準・ZEH適合基準 外皮平均熱還流率UA値 [W/(㎡・K)]

基準	地域区分						
	1	2	3	4	5	6	7
ZEH適合基準	0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6
省エネルギー基準	0.46 (1.6)	0.46 (1.6)	0.56 (1.9)	0.75 (2.4)	0.87 (2.7)	0.87 (2.7)	0.87 (2.7)

（ ）内は住宅熱損失係数Q値 [W/(㎡・K)]

SW2×6パネル 仕様一覧

外壁パネル	構造	壁倍率	5倍（建築基準法 告示1541号仕様）
	面材	種類	OSB（JAS構造用パネル4級F☆☆☆☆）
	（室外・室内）	厚さ	9mm
		種類	206材（JAS枠組壁工法構造用製材 甲種2級）
		樹種	S.P.F
	枠材	寸法	38×140mm
		種類	A種硬質ウレタンフォーム保温板1種相当品（ノンフロン・ノンホルム）
		熱伝導率	0.024W/mK
		透湿係数	185以下〔厚さ25mmあたり ng/(㎡sPa)〕
		厚さ	140mm
DUAL EXパネル	断熱材	種類	A種硬質ウレタンフォーム保温板1種相当品（ノンフロン・ノンホルム）
		熱伝導率	0.024W/mK
		透湿係数	185以下〔厚さ25mmあたり ng/(㎡sPa)〕
		厚さ	50mm
DUAL INパネル	断熱材	種類	A種硬質ウレタンフォーム保温板1種相当品（ノンフロン・ノンホルム）
		熱伝導率	0.024W/mK
		透湿係数	185以下〔厚さ25mmあたり ng/(㎡sPa)〕
		厚さ	30mm
	内装材	種類	せっこうボード
陸屋根パネル	室外側面材	種類	OSB（JAS構造用パネル3級F☆☆☆☆）
		厚さ	12mm
	室内側面材	種類	OSB（JAS構造用パネル4級F☆☆☆☆）
		厚さ	9mm
	枠材	種類	206材（JAS枠組壁工法構造用製材 甲種2級）
		樹種	S.P.F
		寸法	38×140mm
	断熱材	種類	A種硬質ウレタンフォーム保温板1種相当品（ノンフロン・ノンホルム）
		熱伝導率	0.024W/mK
		透湿係数	185以下〔厚さ25mmあたり ng/(㎡sPa)〕
		厚さ	140mm
勾配屋根パネル	室外側面材	種類	OSB（JAS構造用パネル3級F☆☆☆☆）
		厚さ	12mm
	室内側面材	種類	OSB（JAS構造用パネル4級F☆☆☆☆）
		厚さ	9mm
	枠材	種類	206材（JAS枠組壁工法構造用製材 甲種2級）
		樹種	S.P.F
		寸法	38×140mm
	断熱材	種類	A種硬質ウレタンフォーム保温板1種相当品（ノンフロン・ノンホルム）
		熱伝導率	0.024W/mK
		透湿係数	185以下〔厚さ25mmあたり ng/(㎡sPa)〕
		厚さ	140mm

スーパーウォール工法は
ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジーを
8年連続で受賞しています。

スーパーウォール工法は、省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」（前身となる「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック」を含め）を8年連続で受賞。第1回から数えて8年連続での受賞が評価され、3年以上連続受賞の企業に授与される特別表彰の「優秀企業賞」も受賞しています。

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック

- 2007 優秀賞
- 2008 特別賞・優秀賞
- 2009 特別賞
- 2010 優秀賞

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー

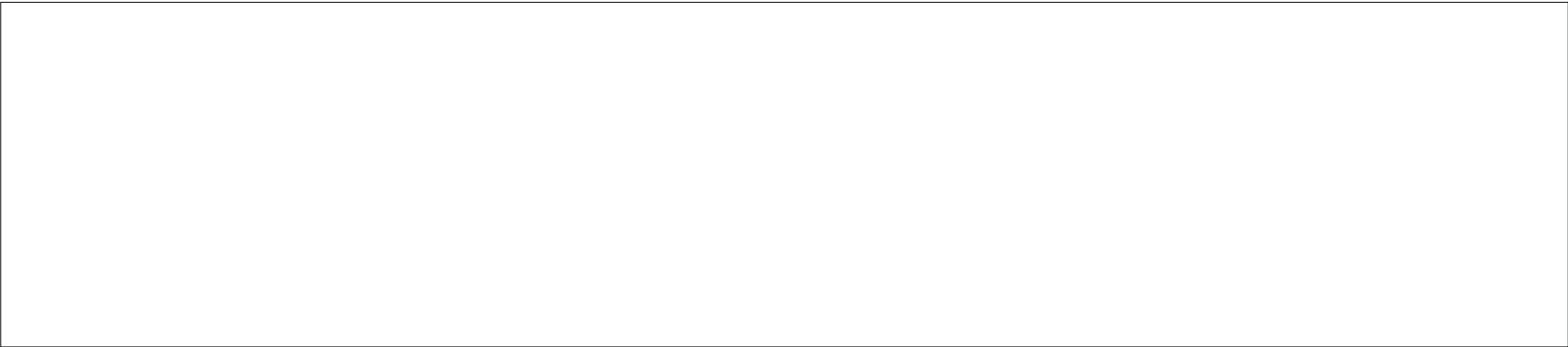
- 2012 優秀賞・優秀企業賞
- 2013 優秀賞・優秀企業賞
- 2014 特別優秀賞・優秀企業賞
- 2015 優秀賞・優秀企業賞
- 2016 優秀賞・特別優秀企業賞



安心と信頼のネットワークで
高品質な住宅をお届けします。

スーパーウォール 2×6の家づくりは、全国のスーパーウォール取扱い加盟店にご依頼ください。設計・施工・管理まで、各地域に密着した住宅会社が責任をもって承ります。
※高性能スーパーウォールパネルなどの部材は、部材メーカーである（株）LIXILで生産を行っています。





株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで <http://www.lixil.co.jp/>

- 仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 本カタログ掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。

SZ4100	04	2017.10.1発行
--------	----	-------------

